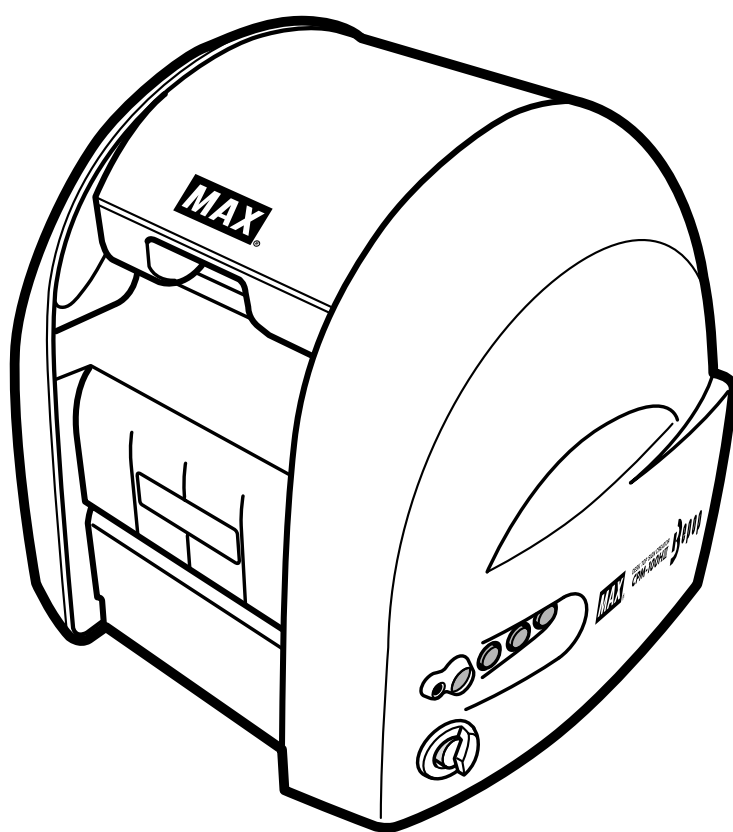


MAX®

CPM-100Ⅲ, CPM-100HⅢ

取扱説明書

Verpop®



ソフトウェアのインストールに関しては、
別冊の「インストールマニュアル」をお読みください。

- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

必ずお読み下さい

はじめに

この度は、ピーポップCPM-100Ⅲ、CPM-100HⅢをご購入いただき、誠にありがとうございます。本機種は、看板・案内表示といった表示物や、カラフルで耐久性の高い高画質ラベルを、どなたでも簡単に作れるラベル作成機です。



なお、末永くご愛用いただくため、この取扱説明書に従ってお取り扱いいただけますようお願い申し上げます。

ご使用上の注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しくお取り扱い下さい。

■表示について

この取扱説明書および商品は、本機を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次の通りです。

 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行ってはいけないことが書かれています。
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性が想定され、絶対に行ってはいけないことや物的損害のみの発生が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。また、作成したデータが消失する可能性があり、絶対に行ってはいけないことが書かれています。

お願い

機械が故障し修理が必要になることが想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行ってはいけないことが書いてあります。






操作上のポイントおよび知っているとお利便なことが書かれています。
















説明のページが異なる場合に参照する箇所が書かれています。

■絵表示について

	「気をつけるべきこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な注意内容です。
	「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な禁止内容です。
	「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中の表示は具体的な指示内容です。

ご使用上の注意

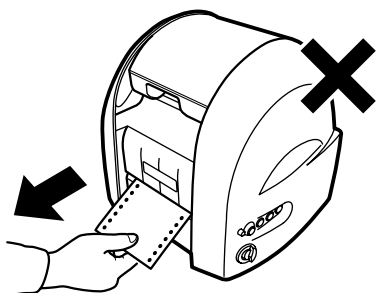
 警告	
	<ul style="list-style-type: none"> 本機は絶対に分解または改造しないでください。火災、感電、故障の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> 本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まないでください。本機が故障したり、火災、感電の原因になります。 電源は直接コンセントからとりタコ足配線はしないでください。火災の原因になります。 電源コードの上に重いものを絶対にせないでください。コードに傷がついて火災や感電の原因になります。 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。 水、薬品などが機械にかからないようにしてください。万一内部に水などが入った場合は電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると本機が故障したり、火災、感電の原因になります。 シート出口部には、絶対に手や物を差し入れないでください。機械の故障の原因になるばかりでなく、身体上の危険を生じることがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> 電源はAC100V専用コンセントを使用してください。100V以外の電源を使用すると本機が故障したり火災、感電の原因になります。 必ずアース接続を行なってください。 カuttingツール（替え刃）は、お子様の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師の指示を受けてください。
 	<ul style="list-style-type: none"> 故障のまま機械を使わないでください。煙が出ている、変な音やにおいがするなど、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> 大きな容量を必要とする機器（冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等）とコンセントは共用しないでください。電圧が下がり機械が誤動作する可能性があります。 紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。火災や故障の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> サーマルヘッドには絶対にさわらないでください。印刷直後のサーマルヘッドは高温になっており、やけどをする恐れがあります。また、手の汚れがサーマルヘッドの故障の原因になることがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグは定期的に清掃してください。長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜いてください。コードが破損して火災や感電の原因になります。 本機内部に粘着シート、インクリボン、異物等がはさまるなどで、印刷やハサミが正常に動作しない場合は、必ず電源を切ってから取り除いてください。機械が不意に動作したとき、けがの原因になります。 ドアカバーの開閉時には手等をはさまないように注意してください。 本機を移動させる時は、必ずドアカバーを閉め、本体側面のトッテを持って運んでください。けが、故障の原因となります。 カuttingツール（替え刃）の交換時、シートの装着脱時には、必ず電源をOFFにしてください。機械が不意に動作したとき、けがの原因になります。 替え刃の刃先は非常に鋭利ですので充分ご注意ください。カuttingツール（替え刃）の先端部は、けがをする恐れがありますのでさわらぬようご注意ください。 機械は平らな場所に設置してご使用ください。不安定な所では本体落下によるけがの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	<ul style="list-style-type: none"> パソコンに保存した内容は、永久的な保存はできません。故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
	<ul style="list-style-type: none"> コネクタには直接手で触れないでください。静電気により故障の原因となることがあります。

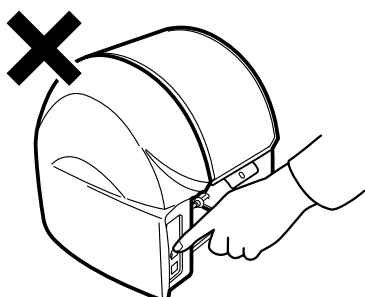
ご使用上のお願い

機械のトラブルを避け本機の故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

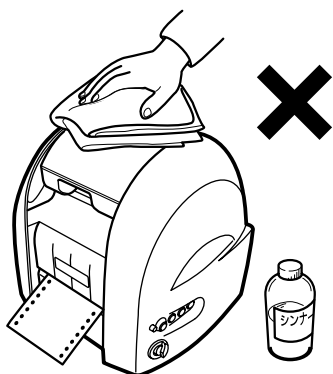
1. 電源が入っているときに、シートをセットした状態で強く引っ張らないでください。



2. コネクタには直接手で触れないでください。静電気により故障の原因となる場合があります。

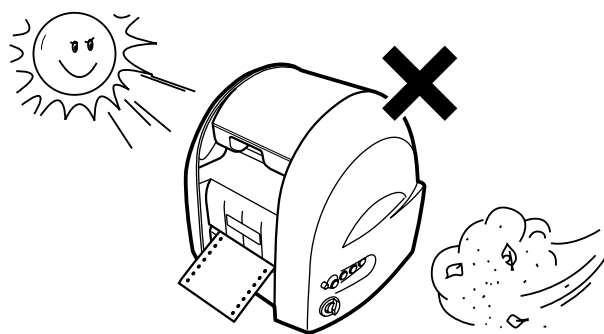


3. 本機の汚れを落とす際には乾いた柔らかい布でふいてください。有機溶媒（アルコール、ベンジン、シンナーなど）や濡れ雑巾などは使用しないでください。機械が変形したり、変色することがあります。

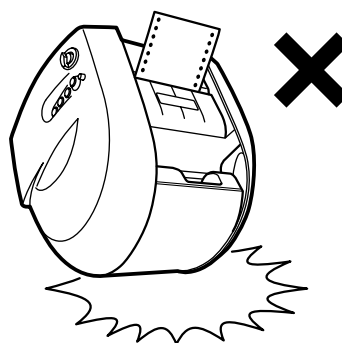


4. トラブルの原因になりますので、次のような場所では使用および保管はしないでください。

1. 直接日光の当たる場所やヒーター等熱源に近い場所
2. ほこりの多い場所や高温多湿の場所
3. 振動や衝撃の加わる場所
4. 温度が10℃以下、35℃以上になる場所で使用しないでください。
5. 温度が0℃以下、40℃以上になる場所で保管しないでください。



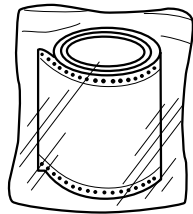
5. 落としたり、ぶついたりして、強いショックを与えないでください。



6. 消耗品（粘着シート、インクリボンカセット）は専用のものをお使いください。その他のものは絶対に使わないでください。

ご使用上のお願い

7. 粘着シートにホコリやゴミ等が付着すると、印刷時にインクが点状に抜けることがあります。粘着シートの保管は梱包時に入っていたビニール袋に入れ、ホコリやゴミ等が付着しないようご注意ください。なお、ホコリやゴミが付着した場合は布等で取り除いてからご使用ください。



⚠ 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>人体に直接貼らない</u>でください。皮膚がかぶれる恐れがあります。 ・ <u>衣服に貼らない</u>でください。衣類が変色する恐れがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>高温多湿、直射日光、ホコリの多い場所を避けて保管</u>してください。

8. インクリボンのご使用にあたっては、同梱の消耗品カタログを参照し、適合機種、適合シートをご確認ください。

⚠ 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>使用後は必ず本体から外して保管</u>してください。インクリボンカセットをセットしたまま長時間保存すると、カセットが変形する恐れがあります。 ・ <u>高温多湿、直射日光、ホコリの多い場所を避けて保管</u>してください。

目次

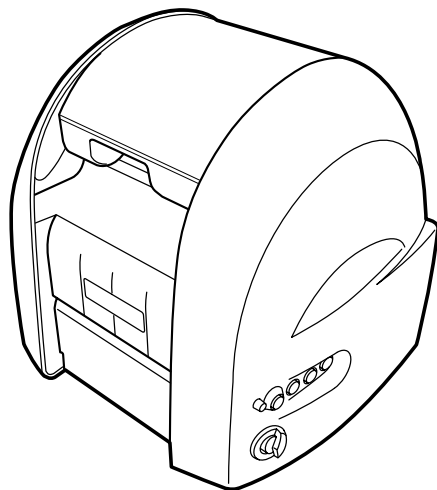
必ずお読みください	I
はじめに	I
ご使用上の注意	I~II
ご使用上のお願い	III~IV
目次	V
第1章 お使いになる前に	1
1.1 同梱品をご確認ください	1
1.2 本体各部の名前とはたらき	2
第2章 シートの取り扱い	3
2.1 シートをセットする	3~4
第3章 インクリボンカセットの取り扱い	5
3.1 インクリボンカセットをセットする	5
3.2 インクリボンカセットを取り外す	6
3.3 シート種類を選択する	7
3.4 印字濃度を調整する	8
3.5 ラミネートフィルムを使う	9
3.5.1 ラミネートフィルムの設定	9~10
3.5.2 ラミネートフィルムのオフセット設定	10
3.5.3 ラミネートフィルムの貼り付け	11
3.6 ラミネートリボンを使う	12~13
第4章 カットングツールの取り扱い	14
4.1 カットングツールをセット（交換）する	14~15
4.2 カット圧を調整する	16
4.3 オフセット値を設定する	17
4.4 カットした文字の処理	18
4.4.1 カス取り	18
4.4.2 転写	18
4.4.3 文字の貼付け	19~20
第5章 シートガイドの取り扱い	21
第6章 コンピュータとの接続	22
6.1 インターフェースケーブルを用意する	22
6.2 インターフェースケーブルを接続する	22
第7章 まず使ってみましょう（基本操作）	23
7.1 電源を入れる	23
7.2 シンボル（ピクトサイン）を入れる	24
7.3 文字を入力する	25
7.4 枠線を描く	26
7.5 カット枠を描く	26
7.6 ラベルを出力する	27~28
第8章 こんなときは	29
8.1 エラー表示と対処方法	29~31
8.2 故障かなと思う前に	32~34
付録	
1. お客様登録をお願いします	付1
2. 商品仕様	付2
3. 保証書／保守サービス	付2

第1章 お使いになる前に

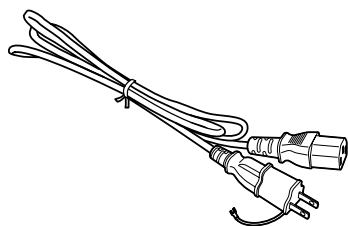
1.1 同梱品をご確認ください

箱を開けて、下記のものがすべて揃っていることを確認してください。

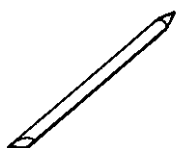
① 本体



② 電源ケーブル



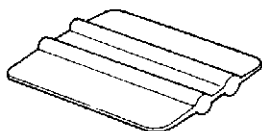
③ カuttingツール
(1本)



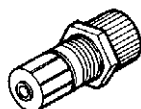
④ ピンセット (CPM-100HⅢのみ)



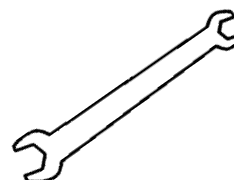
⑤ スキージ (CPM-100HⅢのみ)



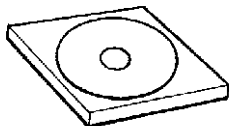
⑥ ツールホルダ
(出荷時に装着されています)



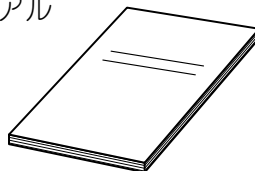
⑦ ツールホルダ交換用スパナ



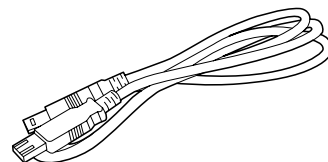
⑧ PCソフトウェア
(CD-ROM)



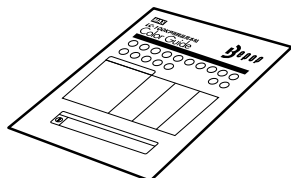
⑨ インストール
マニュアル



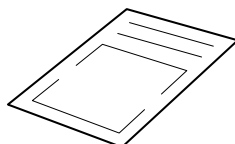
⑩ USBケーブル



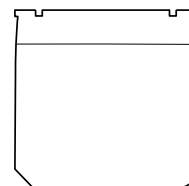
⑪ 消耗品カタログ



⑫ お客様登録カード
兼保証書

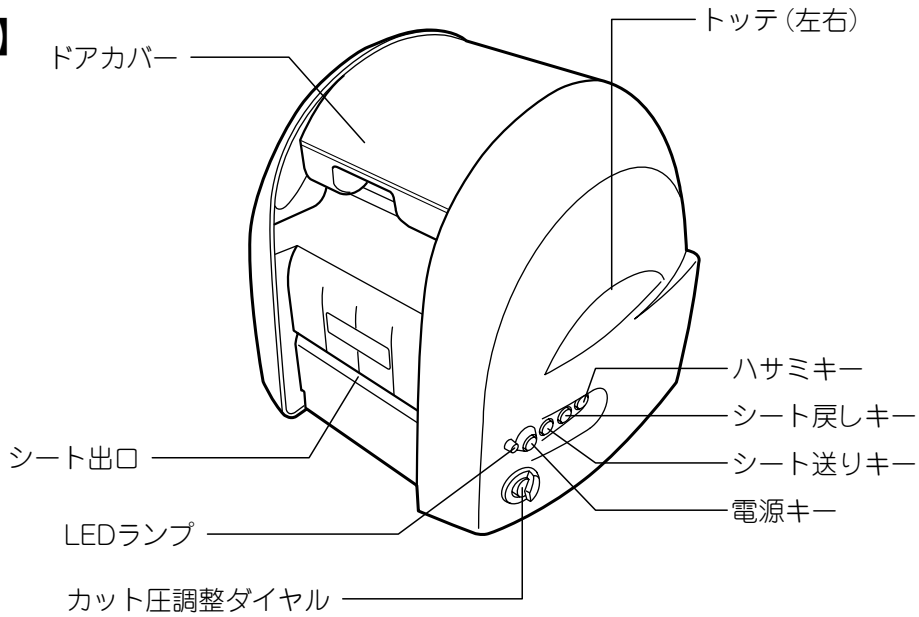


⑬ シートガイド

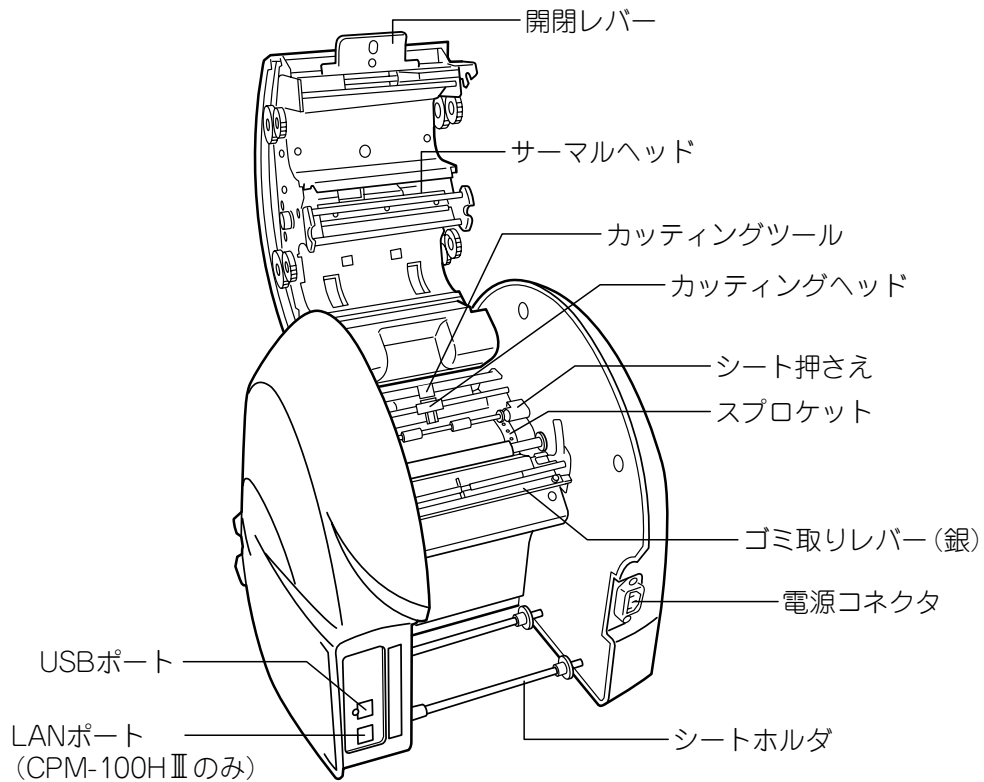


1.2 本体各部の名前とはたらき

【本体前面】



【本体背面】



【キーの主な機能】

- 電源キー : 電源の入切をするキーです。
- シート送り戻しキー : シートを移動させることができます。
- LEDランプ : 電源スイッチがONの時緑色で点灯します。
エラー状態を知らせる時赤色で点灯または点滅します。



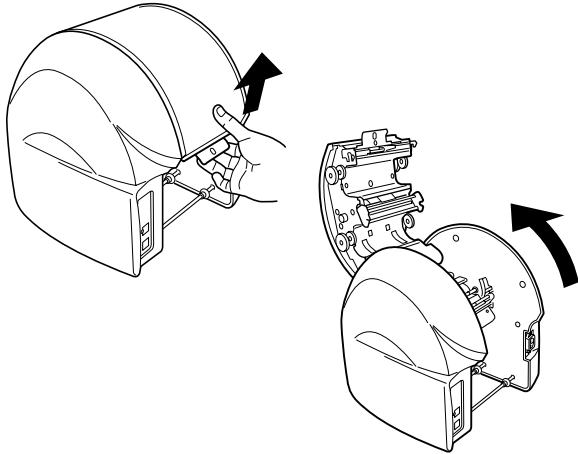
☆エラー状態の詳細については、第8章29ページをご参照ください。

第2章 シートの取り扱い

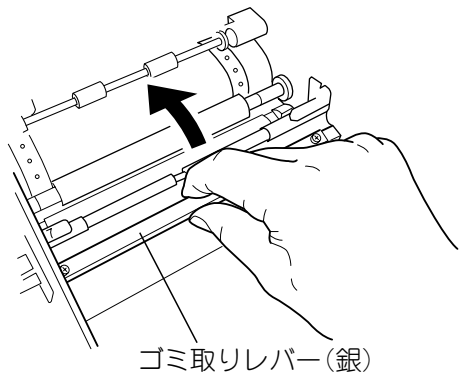
2.1 シートをセットする

本体にビーポップシートをセットする

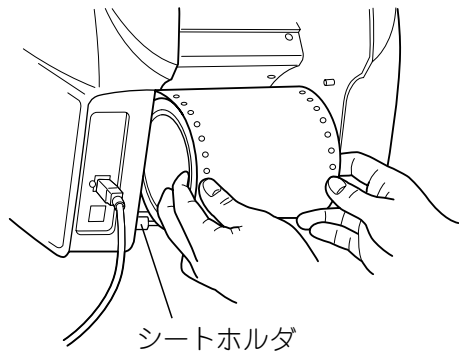
1. 電源をOFF後、ドアカバー開閉レバーを引き上げ、ドアカバーを開けます。



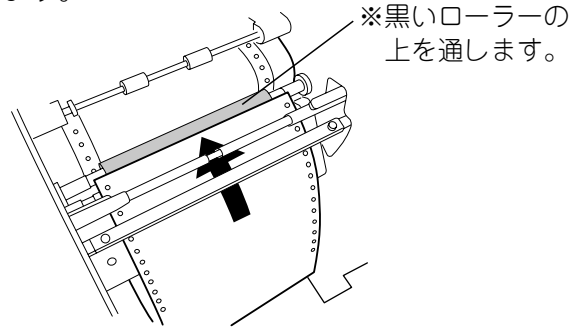
2. ゴミ取りレバー（銀）を持ち上げます。



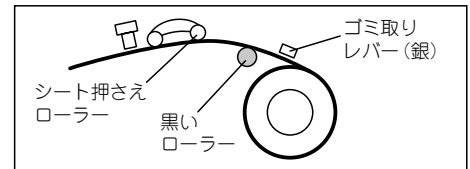
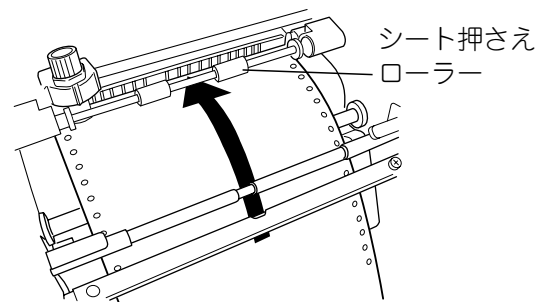
3. シートホルダにビーポップシートをのせます。



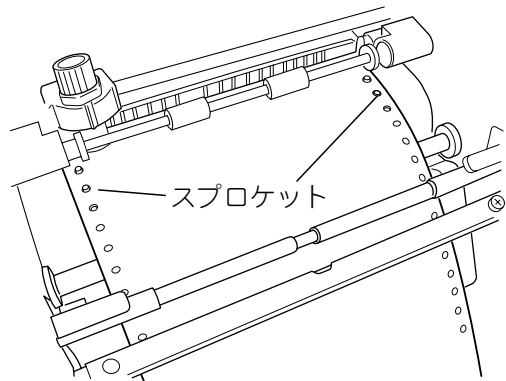
4. シートをゴミ取りレバー（銀）の下に通します。



5. シートを前方に引き出し、2本のシート押さえローラーの下を通します。



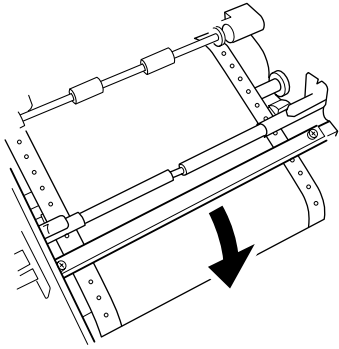
6. 左右のスプロケットのピンとシートの穴を合わせます。



お願い

☆シート表面にはなるべく触れないでください。手の油分がシートに付着し、印字のカスレ等の原因となる場合があります。

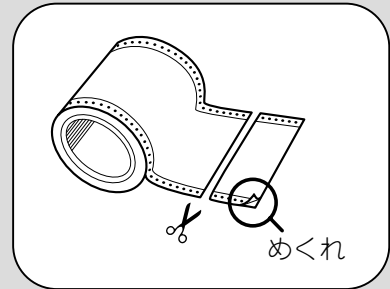
7. ゴミ取りレバー（銀）を下げてシートをおさえます。



8. 「カッチン」とロックがかかるまでドアカバーを閉めます。

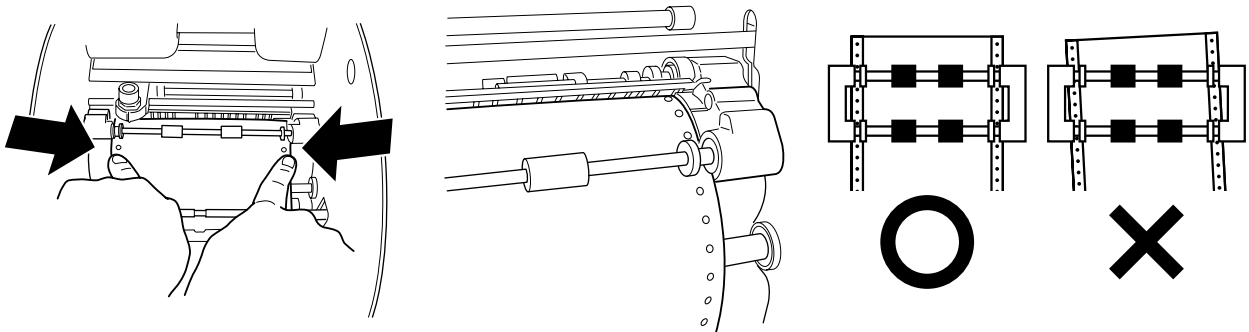
お願い

- ☆シート先端は、右図のようにまっすぐに切ってからセットしてください。斜めに切れていたりすると、シート送り不良の原因となります。
- ☆シート先端がめくれたり、シートが折れている場合は、右図のようにその部分をまっすぐに切り取ってからご使用ください。機械内部に貼り付いたり、つまったりして故障の原因となります。
- ☆シートはたるみが無いようにセットしてください。
- ☆ビーポップシートにホコリやゴミが付着すると、印字時にインクが点状に抜けることがあります。シートの保管は梱包箱に入っていたビニール袋に入れ、ホコリやゴミが付着しないよう注意してください。付着してしまった場合は布等で取り除いてからご使用ください。（薬品等は使用しないでください。）



メモ

☆ピンは確実にビーポップシートの穴に入れてください。また、シートの穴が左右にずれて斜めに装着しないよう注意してください。シートの穴にピンが入っていなかったり、ずれていたりすると、シートが正しく送られません。



⚠ 注意



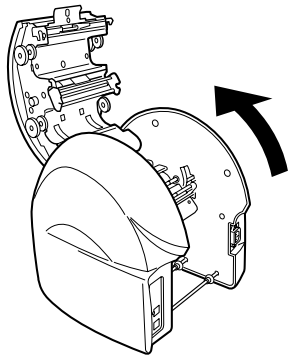
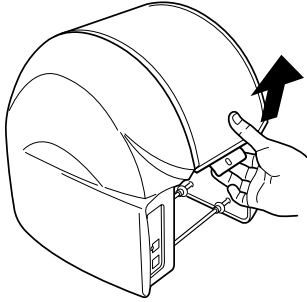
シートのセット時は、必ず電源をOFFにしてください。機械が不意に動作したときにケガの原因になります。

第3章 インクリボンカセットの取り扱い

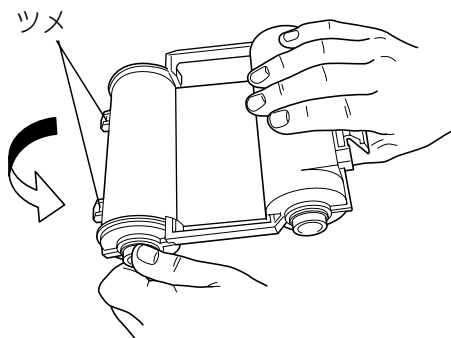
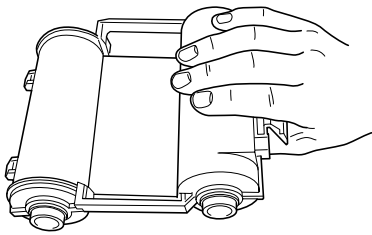
3.1 インクリボンカセットをセットする

本体にインクリボンカセットをセットする

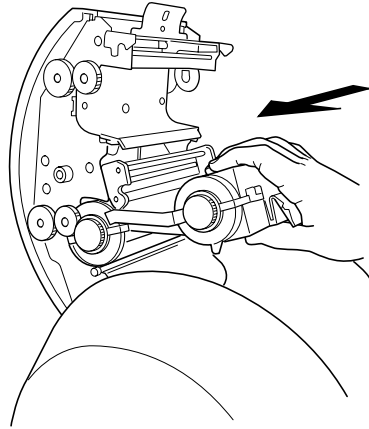
1. 開閉レバーを引き上げ、ドアカバーを開きます。



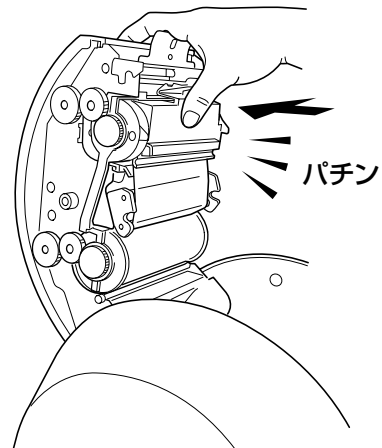
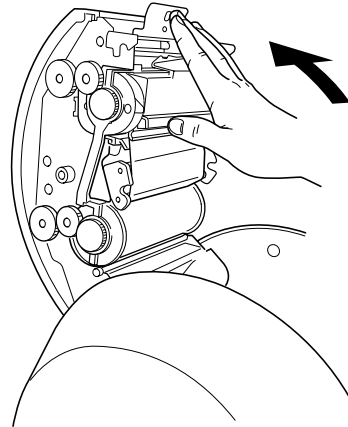
2. インクリボンカセットをスポンジが下面になるように持ち、リボンギヤを図のように矢印方向へまわしインクリボンのたるみを取ります。



3. インクリボンカセットのツメをドアカバー裏の溝に合わせ、差し込みます。



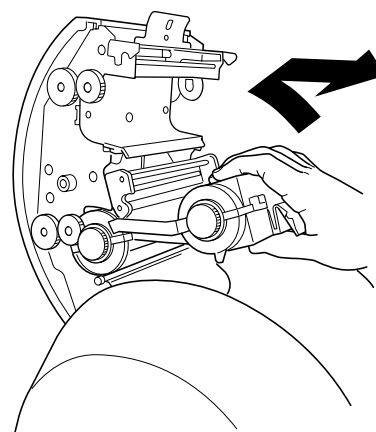
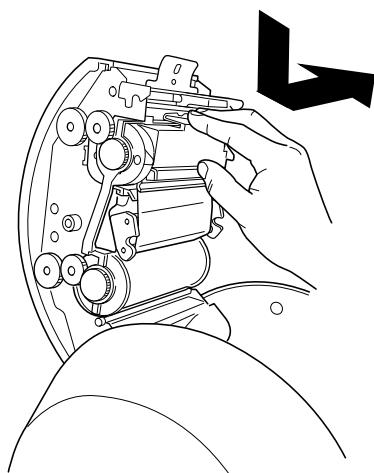
4. ツメを支点として上方に回し入れます。スナップでインクリボンが固定され、『パチン』と音がするまでしっかりと押し込みます。



3.2 インクリボンカセットを取り外す

本体からインクリボンカセットを取り外す

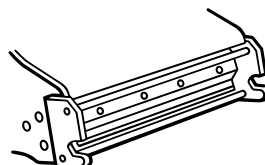
1. ドアカバーを開け、インクリボンカセットのスナップを押しながら、手前に引き出します。
2. カセットを上方に回した後、引き抜きます。



警告



サーマルヘッドには手を触れないでください。
やけどをする恐れがあります。



お願い

- ☆インクリボンカセットは、必ずリボンのたるみを取ってからセットしてください。たるみを巻き取らずに使用すると印字不良やインクリボンのシートへの貼り付きなどが生じる場合があります。
- ☆インクリボンの巻き取り不良が発生した場合は、次のように対処してください。
 1. ドアカバーを開け、インクリボンを切らないように取り外す。
 2. 5ページの手順2と同様にしたたるみを取る。
 3. 再度セットしなおす。

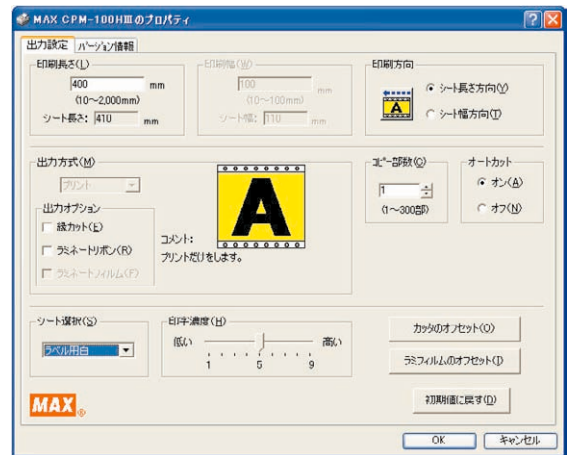
メモ

- ☆印刷実行した際、装着されているインクリボンの残量が僅かな場合（2m以下）、PC画面上に残量不足メッセージを表示しますので、新しいインクリボンに交換してください。但し、インクリボンのたるみを取った長さや手でリボンを送った長さは残量に含まれませんので、その分だけ残量は2mより短くなります。
- ☆インクリボンが切れてしまった場合は、そのカセットは使用できません。
- ☆使用しない時は、必ずインクリボンカセットを取り外しておいてください。
- ☆インクリボンカセットを本体にセットしたままにしておくと、シートにスジ状にインクが転写される場合があります。その場合はシートの転写部分をカットしてお使いください。

3.3 シート種類を選択する

本機では、プリント可能なシートの種類がいくつかあります。最適な状態で印刷するには、お使いになるシートの種類に応じて、パソコン上のプリンタドライバのプロパティでシート種類を設定する必要があります。（下記の操作はBepopPC、CPM-100HⅢプリンタドライバインストール後のものです。専用キーボードLC-KB1000をお使いの場合は、LC-KB1000の取扱説明書をご参照ください。）

1. BepopPCのメニューから「印刷」を選びます。（印刷アイコンのクリックでも可）
2. 印刷ダイアログの [プロパティ] をクリックします。
3. プリンタドライバのプロパティの「出力設定」タブをクリックし、「シート選択 (S)」の▼をクリックします。



4. 下表にしたがってシート種類を選択します。

シート種類	対象シート
通常シート	標準色シートのうち塩ビのもの。
透明シート	透明塩ビシート
PETシート	環境対応シートのPETシルバー
紙ラベル	紙ラベル用シート
ラベル用銀	ラベルPET銀シート
ラベル用白	ラベルPET白シート

5. [OK] ボタンをクリックします。

お願い

☆シート種類は、必ず正しいものを設定してください。正しく選択されていないと、印刷がかすれたりシートにインクリボンが貼り付く原因となります。

メモ

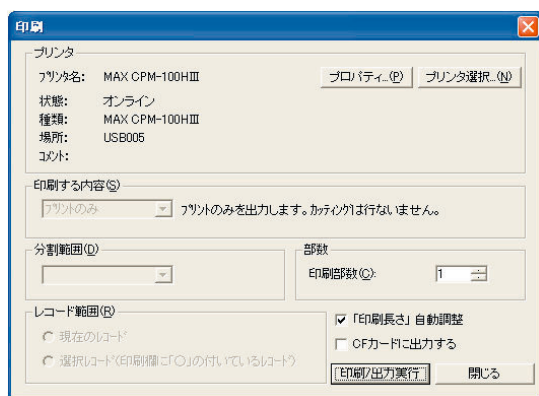
- ☆インストール時の初期値は、「ラベル用白」です。
- ☆設定したシートの種類は、BepopPCを終了するまで有効です。
- ☆初期値をよく使用する設定に変更する場合は、PDF取説「プリンタ設定の初期値をかえる」をご参照ください。
- ☆シート種類は改良のため予告なく増減する場合があります。

3.4 印字濃度を調整する

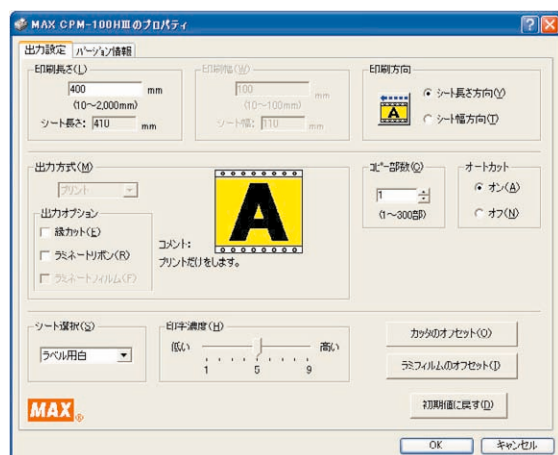
本機で印刷する印字濃度を調整できます。印刷がカスれている場合やオビキ（尾引き）が発生している場合は、パソコン上のプリンタドライバのプロパティで印字濃度を調整する必要があります。（専用キーボードLC-KB1000をお使いの場合は、LC-KB1000の取扱説明書をご参照ください。）

1. BepopPCのメニューバーから「印刷」を選びます。（印刷アイコンのクリックでも可）

2. 印刷ダイアログの「プロパティ」をクリックします。



3. プリンタドライバのプロパティの「出力設定」タブをクリックします。



4. 印刷濃度のスライダーを1目盛ずつ変えて設定し、[OK] ボタンをクリックします。

気温（室温）が高くて、印字物が右の図のようになった時は、印字濃度を“低い”へ1目盛ずつ設定を変えてください。



気温（室温）が低くて、印字物が右の図のようになった時は、印字濃度を“高い”へ1目盛ずつ設定を変えてください。



5. 実際に印刷を行ないながら、適切な設定にしてください。

お願い

☆気温の低い場所では印字先端部のインクの転写性が悪くなり、印字品質が劣化する場合があります。暖かい場所（15℃以上を推奨）でご使用ください。

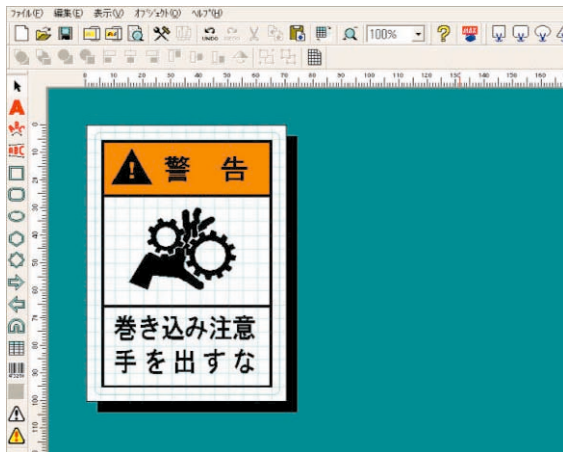
3.5 ラミネートフィルムを使う

3.5.1 ラミネートフィルムの設定

本機では、ラミネートフィルムを印刷したシートの上に貼り付けることで、コスレや薬品に強く、文字の消えにくいラミネートラベルを作ることができます。

- ラミネートフィルム（別売）が別途必要です。
- また、パソコン上のプリンタドライバのプロパティで次の設定をします。
（専用キーボードLC-KB1000をお使いの場合は、LC-KB1000の取扱説明書をご参照ください。）

1. BepopPCのメニューバーから「印刷」または「カラフル印刷」を選びます。
（単色印刷の場合、印刷アイコンのクリックでも可）

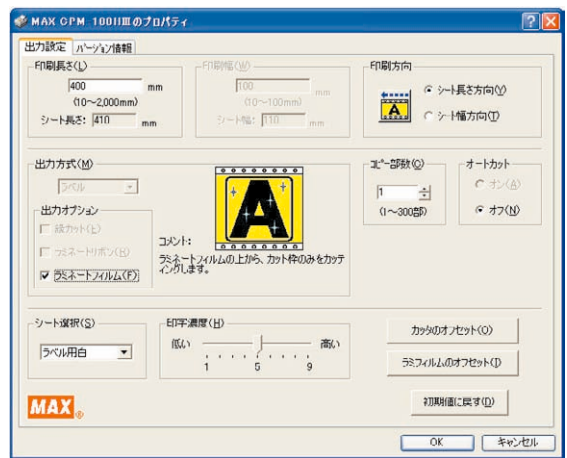


2. 印刷ダイアログで「印刷する内容」の▼をクリックし、「プリント+カット枠（ラベル）」を選びます。



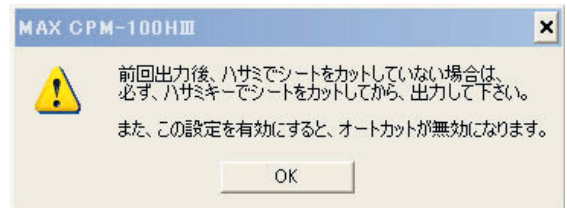
3. 印刷ダイアログの「プロパティ」をクリックします。

4. プリンタドライバの「出力設定」タブをクリックし、「出力オプション」欄の「ラミネートフィルム」にチェックします。



5. ラミネートフィルムモードについての注意メッセージが表示されます。メッセージ内容を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

※前回出力後、ハサミでシートをカットしていない場合は、必ずハサミキーでシートをカットしてから出力してください。



6. プリンタドライバプロパティウィンドウの詳細設定タブに戻ります。[OK] をクリックします。

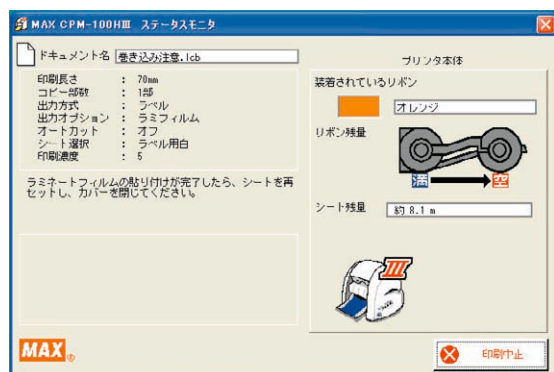
7. 印刷ダイアログで「印刷/出力実行」ボタンをクリックすると印刷を開始します。

8. 印刷が終了したら、シートがハサミでカットされます。本体からシートを取り外し、印刷部分の上にラミネートフィルムを貼り付けます。

※このとき、シートからラミネートフィルムがはみ出さないようにまっすぐに貼り付けてください。シートからはみ出して貼り付けた場合、正常に動作しないことがあります。

※ラミネートフィルムの貼り付け方法につきましては「3.5.3 ラミネートフィルムの貼り付け」をご参照ください。

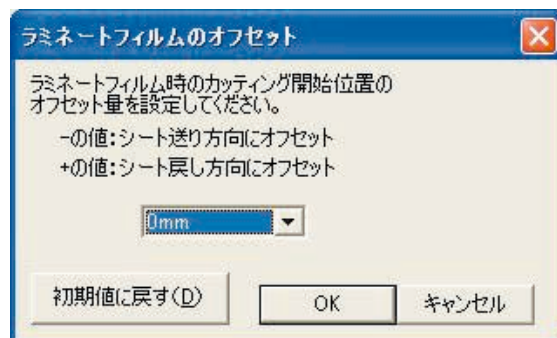
9. ラミネートフィルムを貼り付けたシートを再度本体にセットしてください。



10. ドアカバーを閉じると自動でカット枠のカッティングを開始します。
11. カッティングが終了すると自動的にシートが送られシート出口から排出されます。
 ※ラミネートフィルムモード実行後は、オートカットの設定が無効になっています。オートカットを有効にするためには、次回印刷時にプリンタドライバプロパティの出力設定タブでラミネートフィルムの設定を解除した後、オートカットの設定を「オン」にしてください。

3.5.2 ラミネートフィルムのオフセット設定

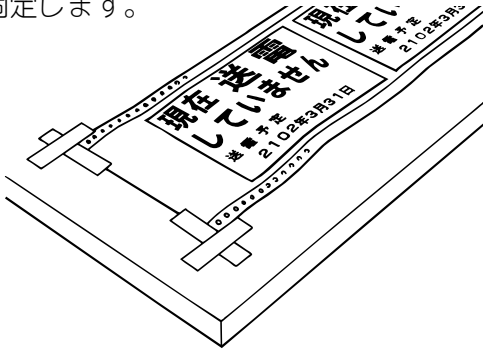
ラミネートフィルムモードでは、カッティング開始位置の調整が行えます。印刷とカットのずれがある場合に設定してください。



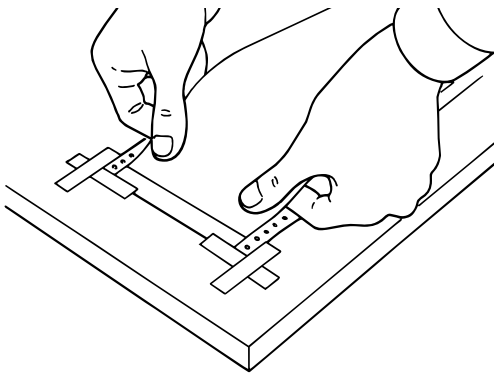
3.5.3 ラミネートフィルムの貼り付け

あらかじめ必要な長さのラミネートフィルムを用意してください。貼り付けの際はラミネートフィルムがシートからはみ出したり、気泡が混入したりしないよう注意して貼り付けてください。

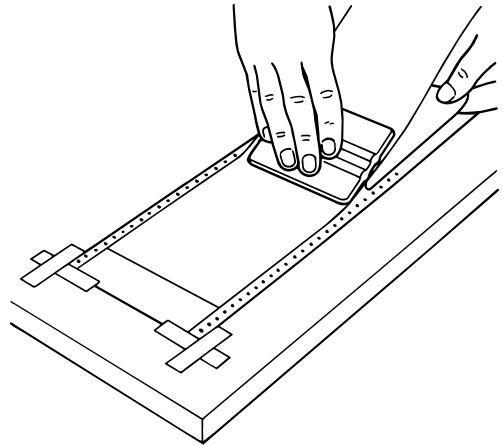
1. 印刷済みのシートを紙テープ等で台の上に固定します。



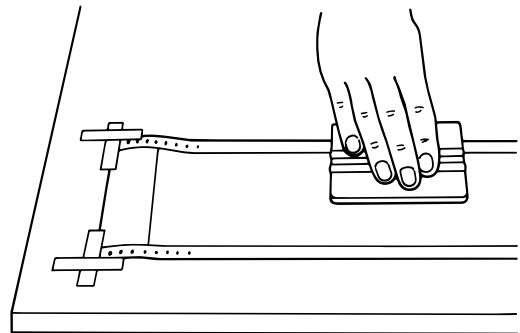
2. その上に剥離紙をつけたままのラミネートフィルムを重ね合わせ、平行にそろえます。
 3. ラミネートフィルムの先端約2cmだけ剥離紙をはがし、裏に折り曲げます。
 4. はがした2cmのラミネートフィルムを印刷済みシートの先端に合わせて貼り付けます。



5. はがした2cmの剥離紙をゆっくり引っ張りながら順次はがし、その部分を圧着していきます。



6. スキージは上から下へ、左から右へというように一定方向に走らせます。
 (CPM-100Ⅲはスキージ別売)



お願い

- ☆ラミネートフィルムは文字を消えにくくするための保護フィルムです。全ての薬品、全ての環境での性能を保証するものではありません。
- ☆ラミネートフィルムを使用して作成された成果物は、お客様ご自身が評価を行なった上でご使用ください。
- ☆貼り付けは10℃以上の温度下で行なってください。
- ☆貼る面の汚れをキレイに拭き取ってから貼り付けてください。
- ☆ラミネートフィルムでシート両端の穴をふさいだり、シートからはみ出したりしないように貼り付けてください。シートからはみ出して貼り付けた場合、正常に動作しません。
- ☆貼り付け後、スキージを使い、十分に圧力をかけて密着させてください。
- ☆ラミネートフィルムは本体のハサミを使ってカットしないでください。本体のハサミでカットした場合、ハサミに粘着材が付着し、切れが悪くなったり、故障の原因となります。



☆簡単な操作でラミネート加工が行なえる専用ラミネートキットLC-X510 (別売) がございます。詳しくはマックスお客様相談ダイヤル0120-510-200にお問い合わせください。

3.6 ラミネートリボンを使う

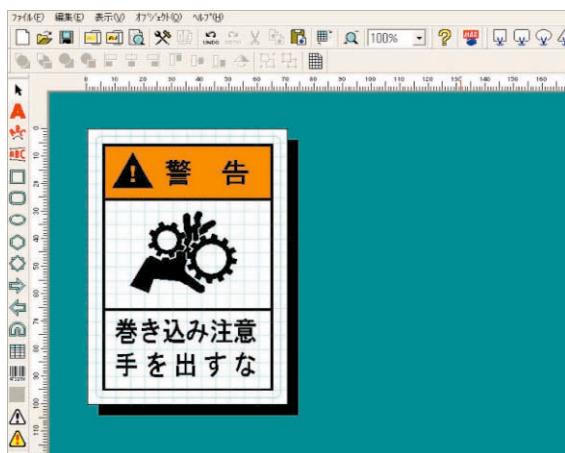
本機では、ラミネートリボンを使うことで印刷した上に薄い保護層を作り、コストに強い文字の消えにくいラベルを作ることができます。

この機能を使うためには、

- ラミネートリボン（別売）が別途必要です。
- また、パソコン上のプリンタドライバのプロパティでつぎの設定をします。

（専用キーボードLC-KB1000をお使いの場合は、LC-KB1000の取扱説明書をご参照ください。）

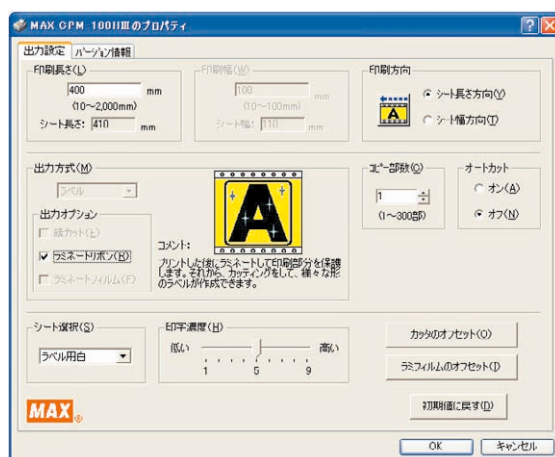
1. BepopPCのメニューバーから「印刷」または「カラフル印刷」を選びます。（単色印刷の場合、印刷アイコンのクリックでも可）



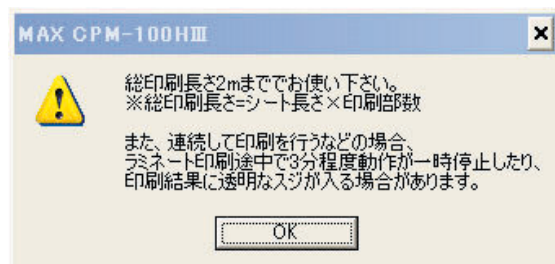
2. 印刷ダイアログの [プロパティ] をクリックします。



3. プリンタドライバの「出力設定」タブをクリックし、「ラミネートリボン」にチェックします。



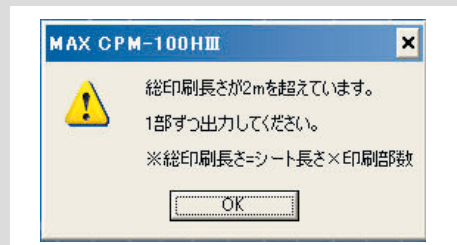
4. ラミネートリボン印刷についての注意メッセージが表示されます。メッセージ内容を確認し、[OK] ボタンをクリックします。
※ラミネートリボン印刷する場合、総印刷長さ（＝シート長さ×印刷部数）は2mを超えることはできません。



5. プリンタドライバプロパティウィンドウの出力設定タブに戻ります。[OK] をクリックします。
6. 印刷ダイアログで [印刷/出力実行] ボタンをクリックすると印刷を開始します。

お願い

- ☆ラミネートリボンは印刷内容を消えにくくする機能です。文字が消えないことを保証するものではありません。
- ☆ラミネート印刷は30℃以下の環境でご使用ください。
- ☆グレイリボン、白リボンで印刷した部分には、ラミネートリボンは十分な機能を発揮しない場合があります。
- ☆総印刷長さが2mを超える場合、印刷されず次のメッセージが表示されます。
[OK] ボタンをクリックすると、レイアウト画面に戻ります。
※ (総印刷長さ) = (シート長さ) × (印刷部数)
例. シート長さ40cm × 印刷部数6部 = 総印刷長さ240cm > 2mとなり、メッセージが表示されます。
※確実にラミネートリボン印刷するために、印刷部数は1枚単位で出力してください。

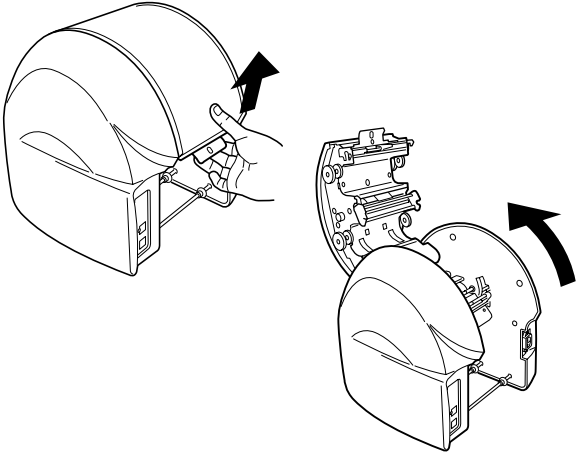


- ☆ラミネートリボン印刷中にサーマルヘッドの温度上昇により一時停止する事があります。
※本体LEDランプが緑の長短点滅 (短い点灯と長い点灯を交互に繰り返します) 状態になります。しばらく (3分程度) 待ってください。温度が下がり次第、自動で印刷を再開します。又、パソコン画面上にエラーメッセージが表示された場合 (タイムアウトメッセージ)、メッセージボタンをクリックせずに、印刷が再開されるまでそのままお待ちください。

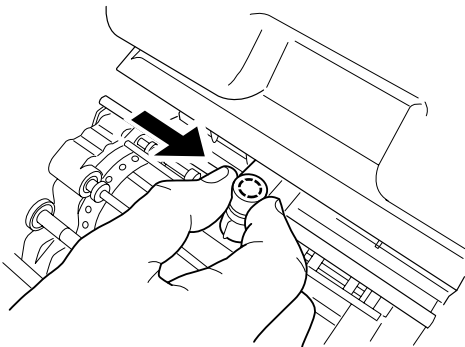
第4章 カuttingツールの取り扱い

4.1 カuttingツールをセット (交換) する

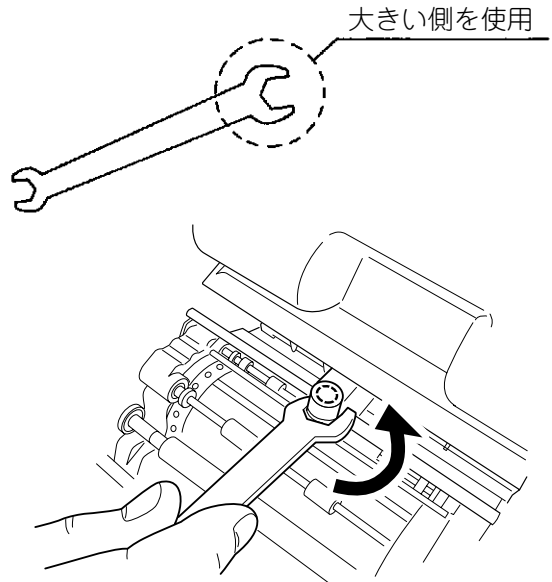
1. 電源OFF後、開閉レバーを引き上げ、ドアカバーを開けます。



2. カuttingヘッドを中央に手で移動させます。



3. 付属のスパナを使用してツールホルダを反時計方向に回し取り外します。
(スパナは大きい側を使います。)



第4章

カuttingツールをセット (交換) する

お願い

- ☆付属のスパナは本機専用ですので他の用途に使用しないでください。破損や変形の恐れがあります。他用途に使用した場合の不具合には責任を負いません。
- ☆同梱のスパナの小さい方を使用する部分はありません。

警告



カuttingツール (替え刃) は、お子様の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師の指示を受けてください。

注意



カuttingツール (替え刃) の装着脱時は、必ず電源をOFFにしてください。機械が不意に動作したときに、けがの原因になります。

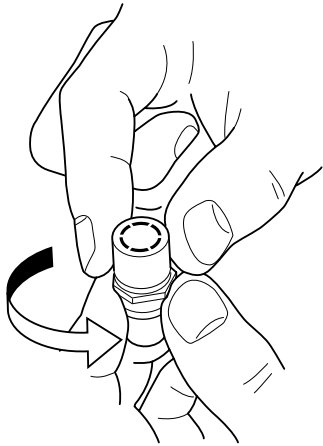


カuttingツール (替え刃) 先端部は、けがをする恐れがありますので触らないでください。

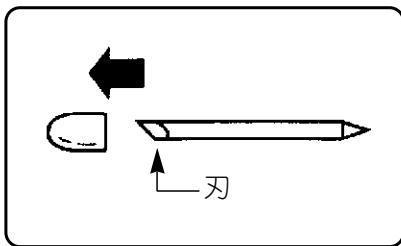
第4章

カuttingツールをセット(交換)する

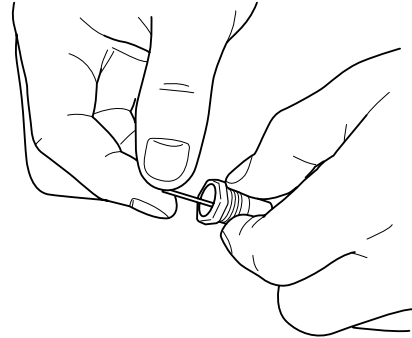
4. 取り外したツールホルダのキャップ(上部)を反時計方向に回し取り外します。



5. 新しいカuttingツール(替え刃)を用意し、保護キャップをはずします。

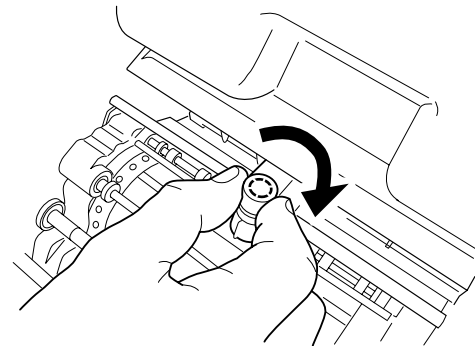


6. 刃先(保護キャップがついていた側)を下にして、ホルダ中央に軽く差し込みます。
※交換のときは古いカuttingツールを先に抜き取ります。



7. ホルダキャップをしめます。キャップをしっかりしめると刃先が適切な出量になります。

8. ツールホルダをカuttingヘッドに手でしめ込みます。



お願い

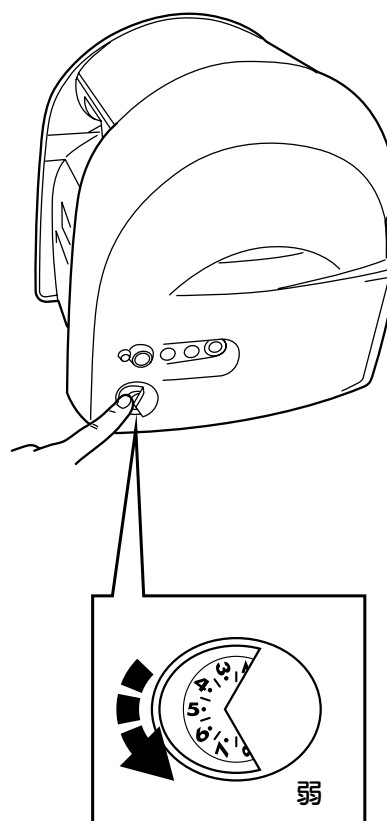
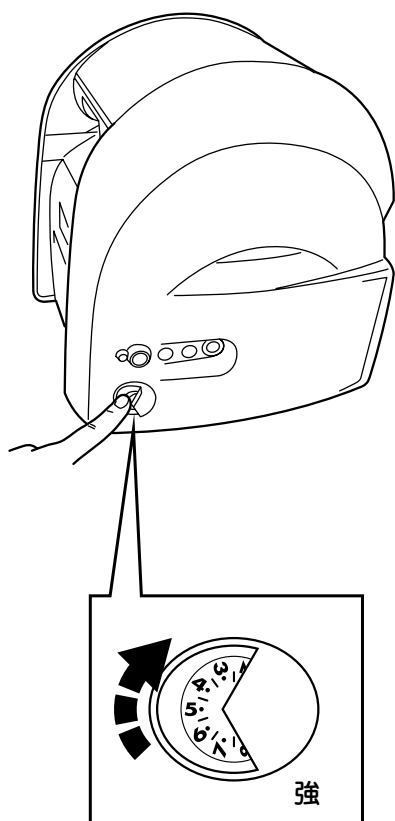
- ☆ツールホルダをしめ込むときはスパナを使用しないでください。強く締め込みすぎると破損する恐れがあります。
- ☆カuttingツールを差し込むときは、押し込まないように注意してください。押し込んで装着すると刃先が出過ぎてしまい、シートを傷つけたりカutting不良を引き起こしたりします。また、カuttingツールの寿命を早めます。
- ☆カuttingツールは慎重に交換してください。誤って本体内部に入ってしまった場合は、最寄りの当社営業所またはマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)窓口へご相談ください。
- ☆ツールホルダ先端部(刃が出ている白い部分)は、絶対に回さないでください。正常にカットできなくなります。

4.2 カット圧を調整する

刃先の圧力（カット圧）を変えることで、切り込みの深さを調整します。工場出荷時は常温(15℃～25℃)で通常シートを使用したときに適正な位置にダイヤルを調整してあります。シートの種類、気温等により切れすぎたり、切れなかったりしますので、ご使用前に試し切りを行ない、カット圧を調整されることをお勧めします。

剥離紙に少し跡がつく程度が適正なカット圧です。

1. シートが切れておらず、うまくはがれない場合は、カット圧が弱い状態です。ダイヤルを半目盛りずつ大きな値にしてシートを切れるように調整してください。
2. 剥離紙まで切ってしまう（剥離紙の裏まで切れている）場合は、カット圧が強い状態です。ダイヤルを半目盛りずつ小さな値にして剥離紙を切らないように調整してください。



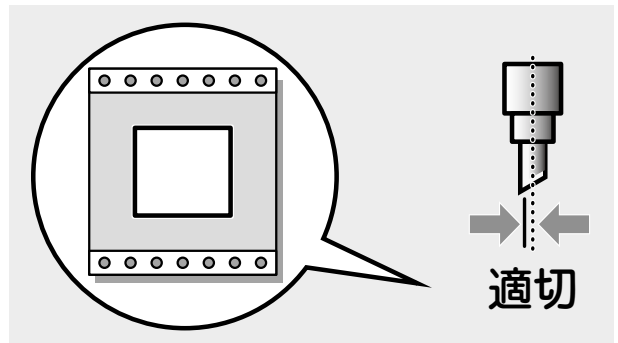
- ☆蛍光シートをカットする場合は、カット圧を通常シートより1目盛り程度大きくしてください。
- ☆カット圧が強いまま使用し続けるとCuttingツールの寿命を早めます。また、シートの台紙までカットしてしまい、故障の原因となります。

4.3 オフセット値を設定する

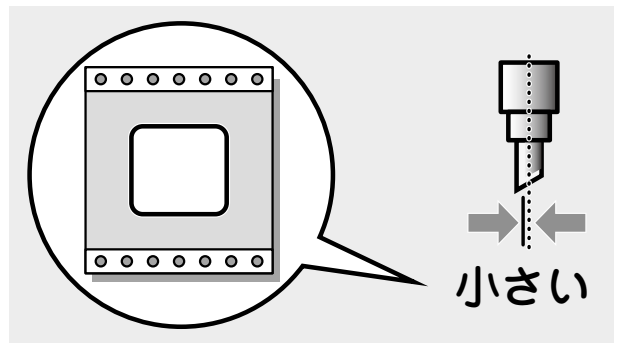
カドがキレイにカットできない場合、オフセット値を変更します。
 オフセット値は、0.150~0.600mmの範囲で0.025mmずつの設定が可能です。

1. Bepop PC入力画面で、「ファイル」 - 「印刷」 を選びます。
2. 印刷する内容が表示された場合は、「印刷する内容を選択してください」の▼をクリックして選択します。
3. 印刷ダイアログ画面で、[プロパティ] ボタンをクリックします。
4. 「出力設定」タブをクリックします。
5. [カッタのオフセット] ボタンをクリックします。
6. 設定値を変更し、[OK] ボタンをクリックします。

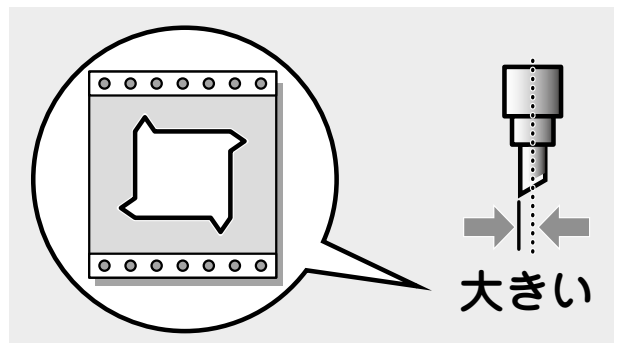
■ 適切なオフセット値を設定すると、右図のようにカuttingされます。



■ オフセット値を小さくすると右図のようにカutting文字の角の部分が丸みを帯びるようになります。



■ オフセット値を大きくするとカutting文字の角の部分に飛び出しが出るようになります。



☆設定したオフセット値を次回以降の出力にも活かしたい場合は、「コントロールパネル」 - 「プリンタ」 - 「プロパティ」を開いて設定してください。

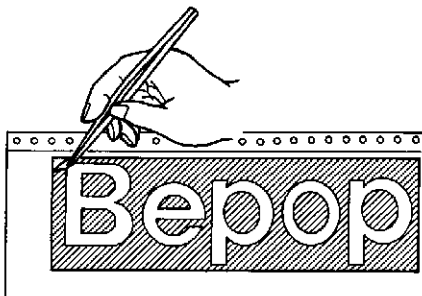
4.4 カットした文字の処理 (CPM-100HⅢ向け)

4.4.1 カス取り

文字のカットが終了したら、転写できるようにするために次のような手順で作業を行います。

1. 文字をカットしたら、文字に必要な部分の取り除き作業を行います。この作業は、シートを送り出し、カットしてから行ってください。

斜線部分を取り除きます。

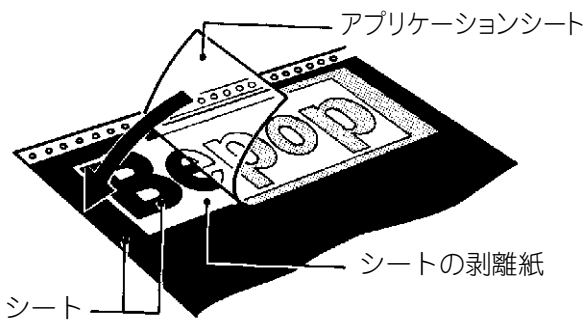


不要部分の取り除き作業は、付属のピンセットや市販のカッターをお使いください。

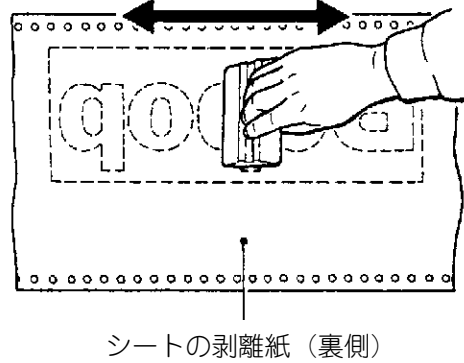
4.4.2 転写

カットした内容のレイアウトのまま張り付けられるように、アプリケーションシートに写し取ります。

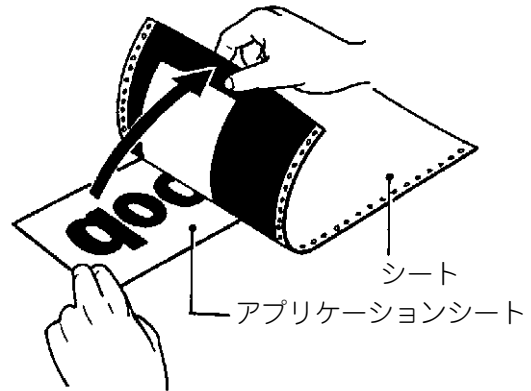
1. アプリケーションシートを適当な大きさ（枠切りのサイズより多少大きめ）にカットします。アプリケーションシートを剥離紙からはがし、カットした文字の上にしわにならないように貼り付けます。



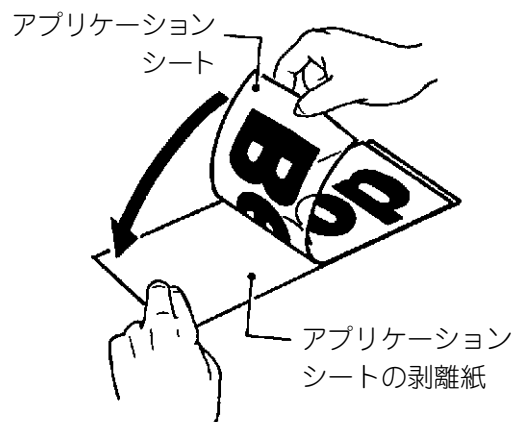
2. アプリケーションシートの上から擦って文字を転写します。転写しづらいときは、裏に返してシートの剥離紙側から擦ってください。



3. アプリケーションシートを下にしてシートの剥離紙を丸めながらはがし、文字をアプリケーションシートへ転写します。



4. そのまま静かに、先ほどのアプリケーションシートの剥離紙の上に乗せ、貼り合わせます。



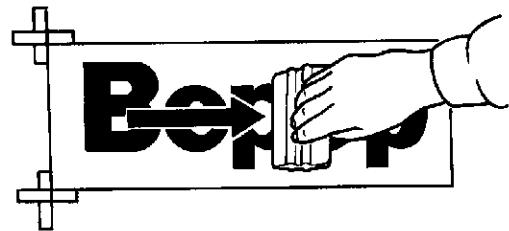
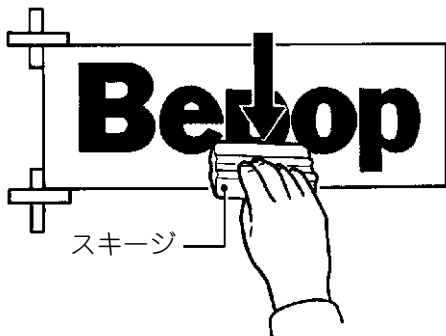
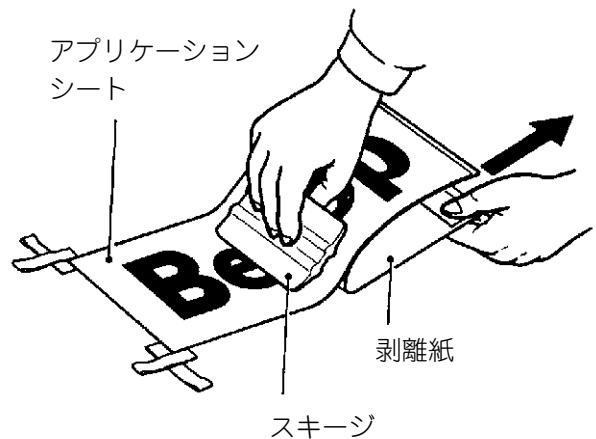
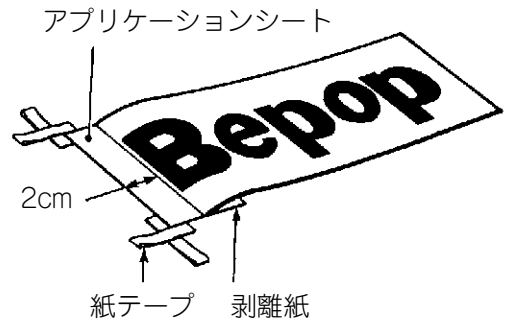
- ☆カット面積の小さい文字の中の部分から取り除くと作業が行いやすいです。
- ☆アプリケーションシートの剥離紙は再度使いますので、捨てないでください。

4.4.3 文字の貼付け

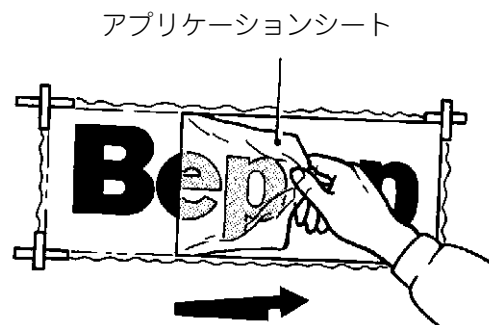
貼り付けるときの注意点は、位置合わせ、気泡の混入、シートの伸び防止（一度伸びると元に戻らない）の3点です。貼り付け方は文字の大小、面積・長さによって、ドライ方式とウェット方式を使い分けることをおすすめします。

[ドライ方式（長さ50cm以下のとき）]

1. 剥離紙を付けたまま、貼り付ける場所に位置合わせし、紙テープで印をつけます。
2. 一端2cmだけ剥離紙をはがし、裏に折り曲げます。
3. はがした2cmのアPLICATIONシートを紙テープの印に合わせて貼り付けます。
4. はがした2cmの剥離紙をゆっくり引っ張りながら順次はがし、その部分を圧着していきます。
5. スキージは上から下へ、左から右へというように一定方向に走らせます。



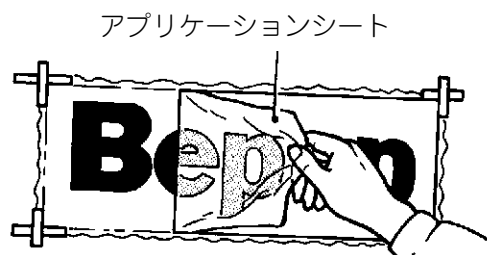
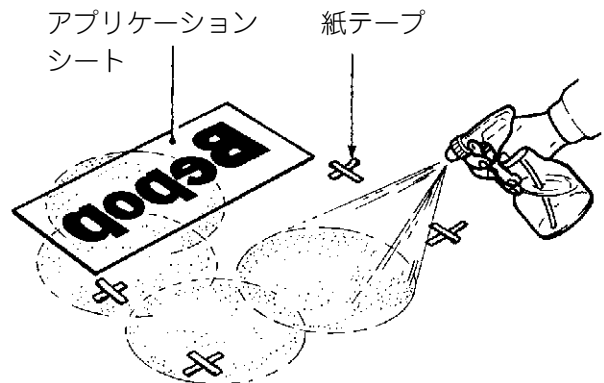
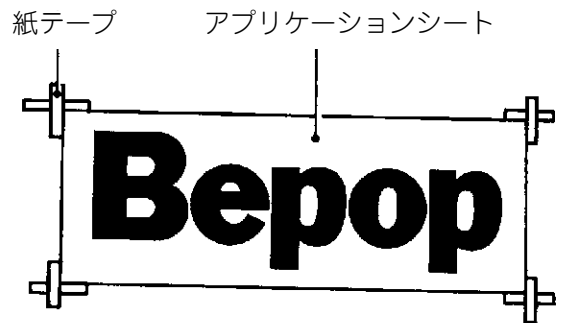
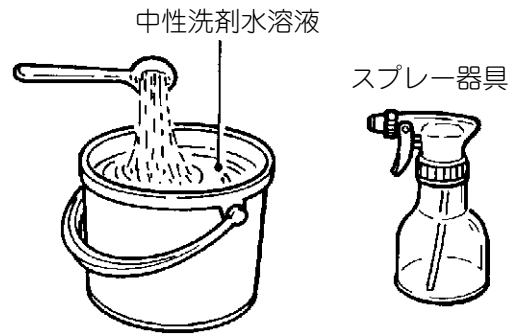
6. APPLICATIONシートを180度の角度でゆっくりと注意深くはがしてください。



☆貼り付けたシートに気泡ができた場合には、針で気泡を潰し中の空気を押し出して圧着してください。

[ウェット方式 (長さ50cm以上のとき)]

1. 家庭用中性洗剤を4リットルの水にスプーン1~2杯を入れ、よくかき混ぜて中性洗剤水溶液をつくります。
2. 作った中性洗剤水溶液をスプレー器具に入れてください。
3. 剥離紙をつけたまま、貼り付ける場所に位置合わせをして紙テープで印をつけます。
4. 被着面と、アプリケーションシートの剥離紙をはがした接着面に、中性洗剤水溶液をスプレーでまんべんなく吹き付けます。
5. アプリケーションシートを紙テープに合わせ、位置を確認します。
6. スキージを中心から端に向かってこすり、中性洗剤水溶液を押し出し、空気を抜きながら圧着してください。
7. アプリケーションシートを180度の角度で、ゆっくりと注意深くはがしてください。

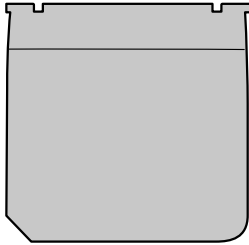


第5章 シートガイドの取り扱い

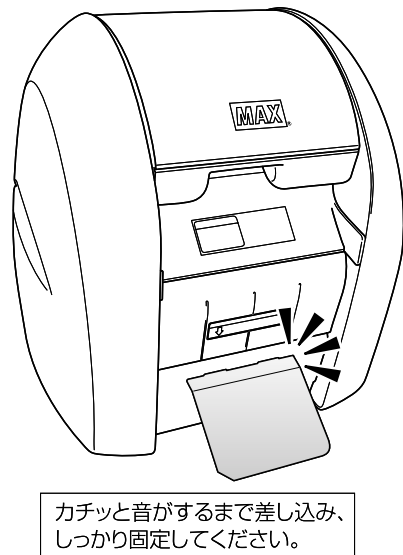
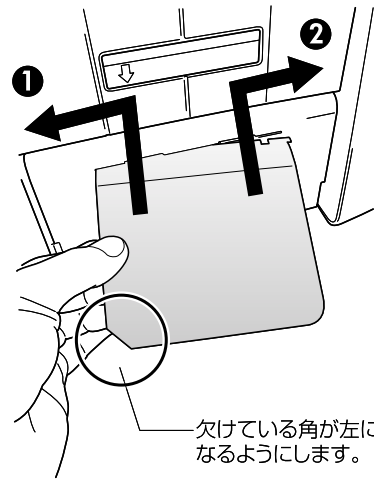
シートガイドは、細かいシート作成や長尺のシート作成の際にスムーズなシート排出を行なえる補助シューターです。

下記の手順に沿って取付けを行なってください。

シートガイド



1. 本体排出口の下部の溝に、シートガイド突起部の片側を差し込みます。
2. 続いて反対側の突起部を溝に差し込みます。

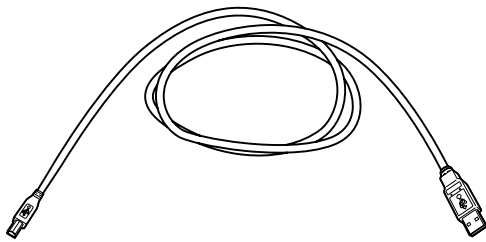


第6章 コンピュータとの接続

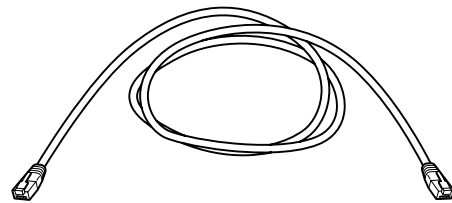
CPM-100Ⅲでは、USBケーブルでパソコンと接続します。CPM-100HⅢでは、LAN接続も可能です。また、USBケーブルを使って専用キーボードLC-KB1000（別売）と接続できます。（専用キーボードLC-KB1000をお使いの場合は、LC-KB1000の取扱説明書をご参照ください。）

6.1 インターフェースケーブルを用意する

USBケーブル



LANケーブル（別売品）

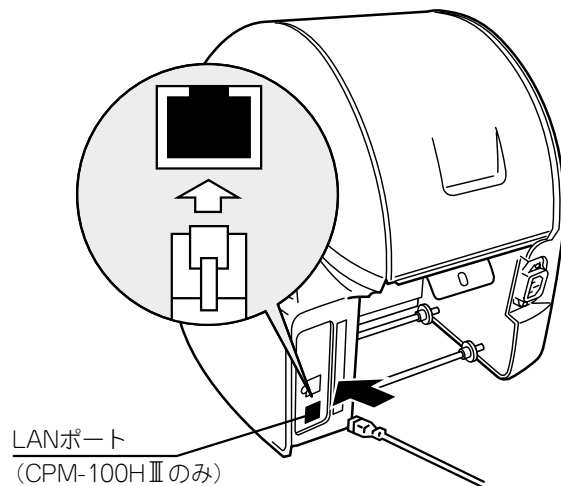
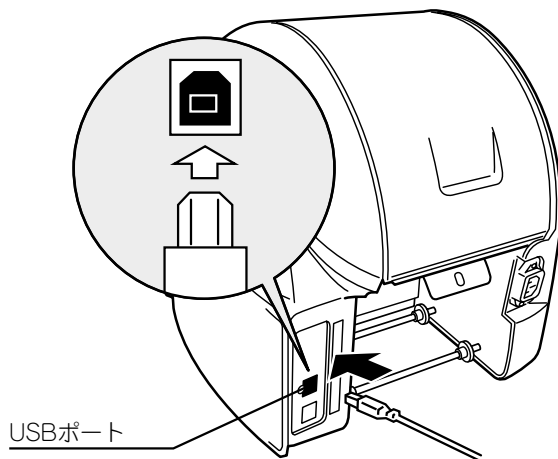


6.2 インターフェースケーブルを接続する

1. コンピュータ側にBepopPC（入力ソフト）及びプリンタドライバが、すでにインストールされていることを確認してください。

インストールされていない場合は、別冊の『インストールマニュアル』に従ってインストールを行なってください。

2. 本機の側面側にあるコネクタと各インターフェースケーブルで接続します。



3. もう一方のインターフェースケーブルをコンピュータ側のコネクタとで接続します。

※コンピュータへのインターフェースケーブル接続については、コンピュータの取扱説明書をお読みください。



☆本ソフトに関する最新情報が、添付CD-ROMのREADMEファイルに記述されています。

必ずご一読ください。

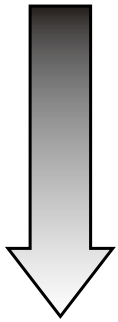
☆USB接続で、USBハブを使用すると正常に動作しない場合があります。その場合にはUSBケーブルを直接コンピュータ本体のUSBコネクタに接続しておためください。

第7章 まず使ってみましょう (基本操作)

この章ではCPM-100HⅢを使った簡単なラベルの作成手順を説明しています。あらかじめ、別冊のインストールマニュアルにしたがってBepopPCおよびプリンタドライバをインストールしてからお試しください。

右のようなカラフルラベルを作成してみましょう。 ⇒

全体の流れ

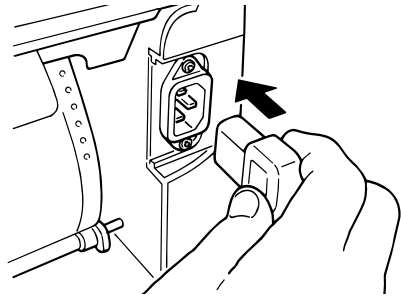


- 7.1 電源を入れる
- 7.2 シンボル (ピクトサイン) を入れる
- 7.3 文字を入力する
- 7.4 枠線を描く
- 7.5 カット枠を描く
- 7.6 ラベルを出力する

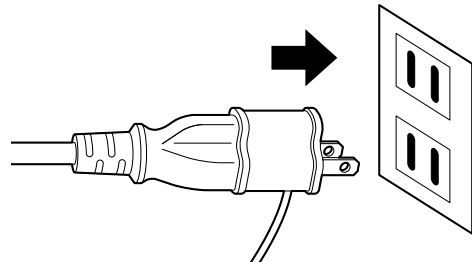
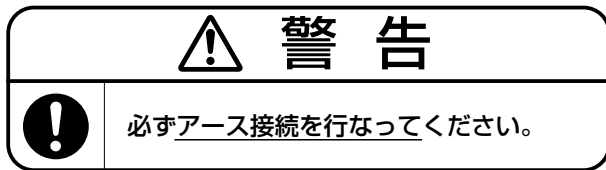


7.1 電源を入れる

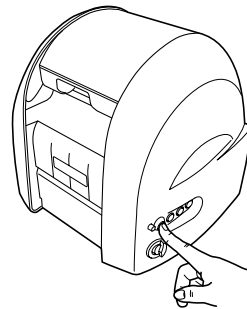
1. 電源ケーブルを本体の電源コネクタに接続します。
(粘着シート、インクリボンカセット、カッティングツールをあらかじめセットします。)



2. 電源プラグをコンセントに差し込みます。



3. パソコンと本機を接続ケーブルで接続します。
(第6章 コンピュータとの接続を参照)




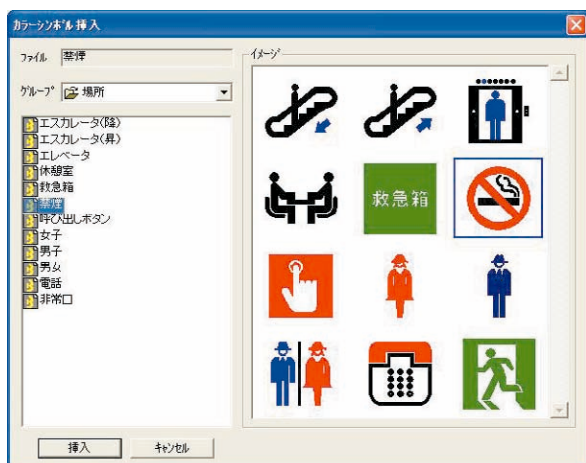
4. 本体の電源キーを押します。電源をONにすると、緑色のランプが点灯します。

7.2 シンボル (ピクトサイン) を入れる

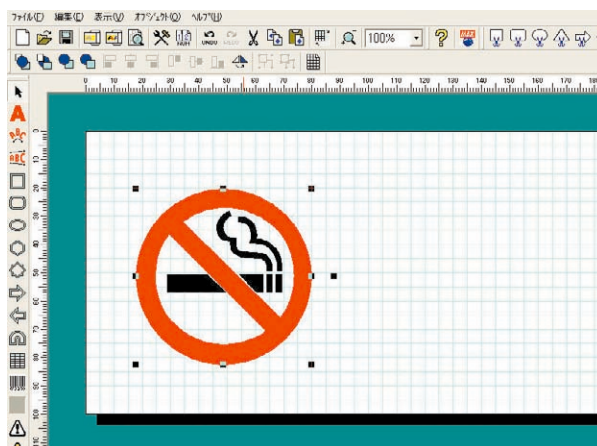
1. BepopPCを起動します。
2. はじめに“シート設定画面”が表示されます。出力機種を「CPM-100HⅢ」に、出力設定を「プリント/ラベル」にして [OK] ボタンをクリックします。



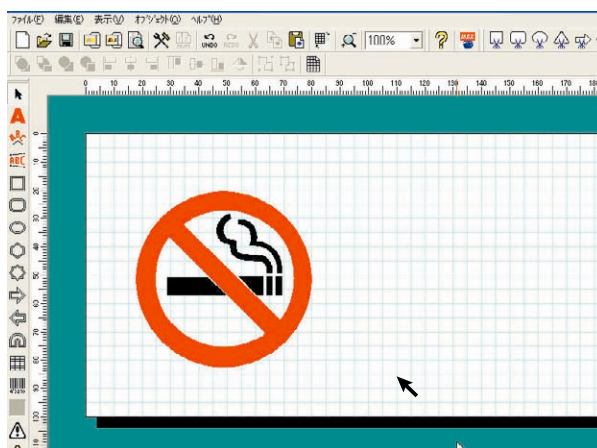
3.  (色のついていている方) をクリックして“カラーシンボル挿入”画面を開きます。
4. グループ (場所)、シンボル名 (禁煙) を選択します。



5. [挿入] ボタンをクリックすると、レイアウト画面にシンボルが貼り付きます。



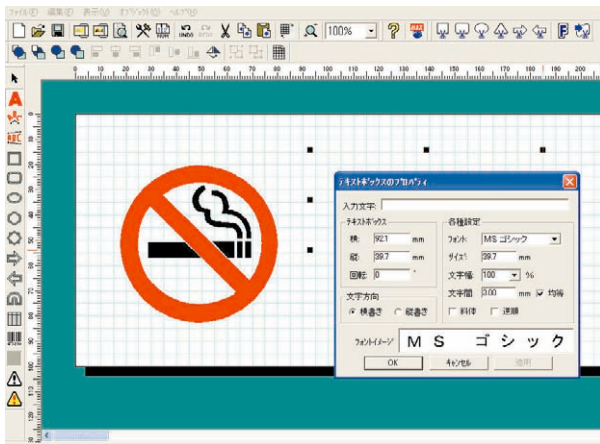
6. 編集画面上に大きさやレイアウトを調整します。
7. 編集画面上の空いた所をクリックし選択を解除します。
(9個の■点が消えた状態になります。)



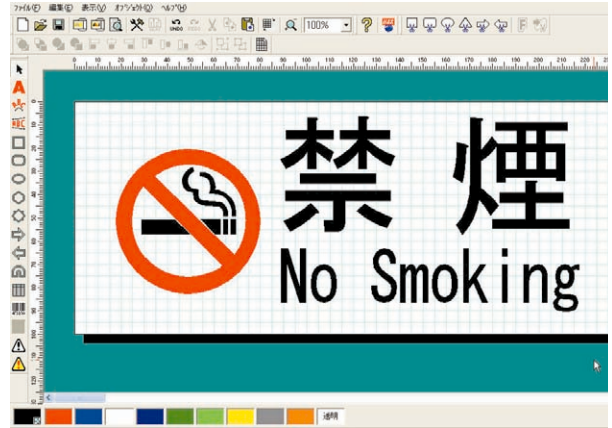
☆ピクトサインは、お客様専用ホームページBepop-netからもさまざまな種類が無償ダウンロードできます。

7.3 文字を入力する

1. 画面下部のカラーパレットの黒色をクリックします。
2. **A** をクリックしてテキストボックスを選択し、文字を描きたい範囲を編集画面上にドラッグします。
3. 「テキストボックスのプロパティ」が開きます。



7. サイズやレイアウトを調整します。




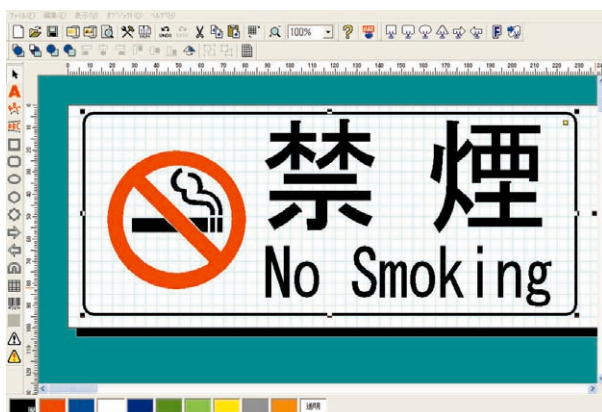
4. 「禁煙」と文字を入力し、フォントの [MS ゴシック] を選択します。
5. [OK] ボタンをクリックします。
6. 手順1~4を繰り返し、「No Smoking」と入力します。




- ☆BepopPCでは、パソコンにインストールされているTrueTypeフォントが使用できます。
※一部の書体ではデータの作り方の違いにより正常に表示・印刷できない場合があります。
- ☆手順5で [適用] ボタンをクリックすると、プロパティ画面を閉じることなく設定内容をレイアウト画面に反映させることができます。

7.4 枠線を描く

1. 画面下部のカラーパレットの黒色をクリックします。
2.  (角丸四角形・長円) をクリックします。
3. 全体を囲むようにドラッグして、角丸枠線を描画します。

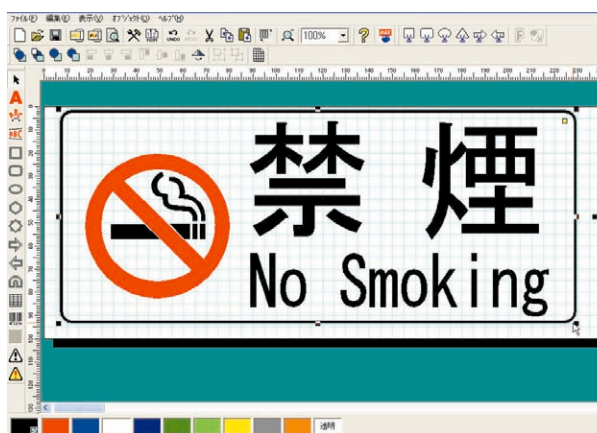


7.5 カット枠を描く

1. 最後にハーフカットを入れるライン (カット枠) を描画します。 (カット枠角丸四角) を選択します。



2. 先ほど描いた枠線の外側をドラッグします。



3. 大きさやレイアウトを調整します。



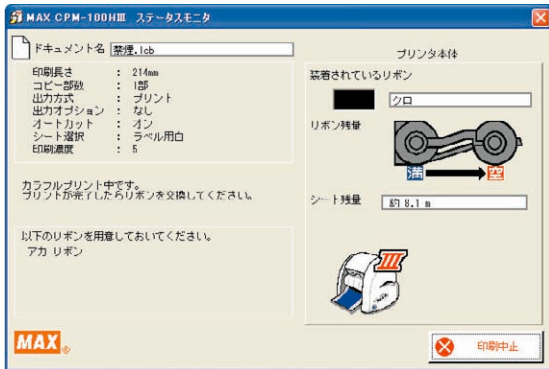
☆カット枠は、印刷した周囲をハーフカットするオブジェクトです。さまざまなオブジェクトをカット枠に変換することで、自由な形状のラベルが作成できます。(CPM-100Ⅲの場合、作成できるカット枠は四角、角丸四角、円/楕円、角丸三角、矢印のみです)

7.6 ラベルを出力する

1. 本体にシートをセットし、黒リボンカセットをセットします。
2. 「ファイル」－「カラフル印刷」を選びます。
3. カラフル印刷ダイアログで印刷する内容を「プリント+カット枠」を選び、「印刷長さ」自動調整にチェックを入れます。

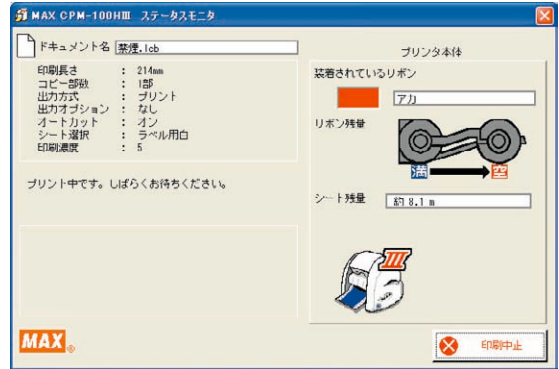


4. 「印刷/出力実行」をクリックします。黒部分の印刷を開始します。

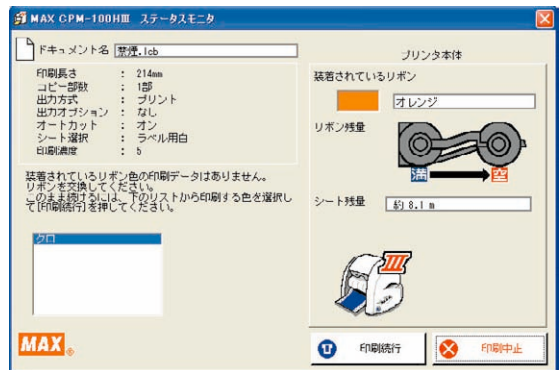


5. 印刷が止まり、シートの巻き戻しが始まった後、ドアカバーを開き、黒リボンカセットをはずして赤リボンカセットをセットします。(巻き戻しの最中でもリボンカセットの交換は可能です。)

6. ドアカバーを閉めると自動で赤部分の印刷を開始し、ハーフカット、フルカットを行ない、カラフルラベルが完成します。



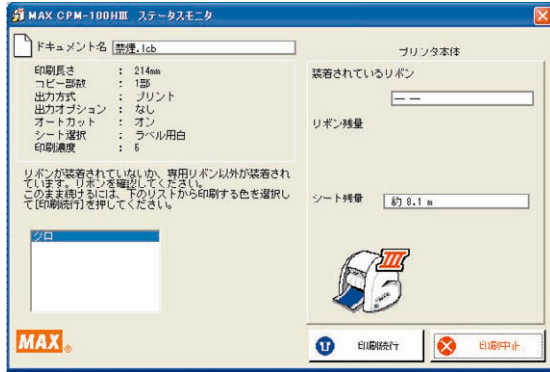
※作画データにない色のリボンがセットされている場合、以下のメッセージが表示されますので、使用した色のリボンに交換してください。「印刷続行」をクリックするとそのまま印刷を開始します。



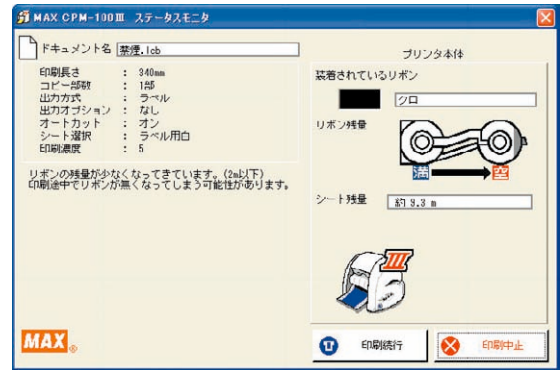
☆手順1で、<印刷アイコン>をクリックすると、単色で印刷できます。

☆手順3で、[プロパティ] ボタンをクリックすると、出力設定（印字濃度、オートカット、余白の大きさ、ラミネートリボン印刷、手貼りラミネートモードなど）が変更できます。

※リボンがセットされていないか、専用以外のリボンがセットされている場合、以下のメッセージが表示されますので、専用リボンを装着してください。「印刷続行」をクリックするとそのまま印刷を開始します。



※インクリボンの残量が僅か (2m) になると、以下のメッセージが表示されますので、新しいインクリボンに交換してください。但し、インクリボンのたるみを取った長さや手でリボンを送った長さは残量に含まれませんので、その分だけ残量は2mより短くなります。



参照

- ☆ラミネートフィルムを使用する場合は、本書9～11ページ「3.5 ラミネートフィルムを使う」をご参照ください。
- ☆ラミネートリボンを使用する場合は、本書12～13ページ「3.6 ラミネートリボンを使う」をご参照ください。

お願い

- ☆シートのセット方法については、本書3～4ページを参照してください。
- ☆インクリボンカセットのセット方法については本書5ページを参照してください。
- ☆カラフル印刷では、必ず画面に表示されるメッセージに従った操作を行なってください。メッセージを無視した操作を行なうと正常に動作しない場合があります。
- ☆カラフル印刷は、途中からやり直すことはできません。操作を誤った場合は、次の手順で再度印刷しなおしてください。
 - ①本体の電源をOFFにします。
 - ②ステータスマニタ上の印刷中止ボタンをクリックし、印刷ジョブを削除します。
 - ③本体の電源をONにします。プリントできる状態になります。
 - ④途中まで印刷してしまった部分は、シートを送ってはさみキーでカットしてください。
 - ⑤再度、カラフル印刷を行ないます。
- ☆オブジェクトとオブジェクトが接するような色の設定を行なうと、色の境目がわずかに白く抜けたり、黒くなったりする場合があります。
- ☆連続して印刷した場合、本体が印刷待機状態にならず、印刷動作を開始しない場合があります。
 - ※本体LEDランプが赤の点滅状態になります。
 - 印刷ジョブクリア後しばらく (3分程度) 待ってから再度印刷しなおしてください。

第8章 こんなときは

8.1 エラー表示と対処方法

出力機本体の状態をLEDランプが示します。
 緑や赤のLEDランプの点灯や点滅で、点灯のしかたによって次の状態を示しています。
 「対処方法」欄記載の項目に番号がある場合は、若い順に確認してください。

ランプ	本機の状態	原因	対処方法
● (赤点灯)	ドアカバーが開いています。	ドアカバーが開いています。	本体のドアカバーを閉じてください。
● (赤点灯)	リボンがありません。	インクリボンがなくなりました。	①新しいインクリボンを本体にセットしてください。 ②「印刷中止」ボタンをクリックし、印刷をやり直してください。
● (赤点灯)	シートがありません。	シートがセットされていません。	新しいシートを本体にセットしてください。
● (赤点灯)	シートがありません。	シートがなくなりました。	①新しいシートを本体にセットしてください。 ②「印刷中止」ボタンをクリックし、印刷をやり直してください。
● (赤点灯)	シート送リエラーが発生しています。	シートが斜めにセットされています。	①印刷中の場合は「印刷中止」ボタンをクリックします。 ②シートが斜めにセットされている場合は、正しくセットしてください。
		本機対応品以外のシートがセットされています。	①印刷中の場合は「印刷中止」ボタンをクリックします。 ②セットされたシートが本機対応品かどうかご確認ください。必ず本機に対応した専用シートをご使用ください。
● (赤点灯)	残量検出に必要なシート残量がありません。	シートの残量が不足しています。	①印刷中の場合は「印刷中止」ボタンをクリックします。 ②十分残量のあるシートに交換してください。
● (赤点灯)	印刷に必要なシート残量がありません。	シートの残量が不足しています。	①印刷中の場合は「印刷中止」ボタンをクリックします。 ②十分残量のあるシートに交換してください。
● (赤点灯)	シートの先端を検出できません。	シートが詰まっています。	①「印刷中止」ボタンをクリックしてください。 ②出力機の電源を切り、必ずコンセントから電源プラグを抜きます。 ③ドアカバーを開け、詰まったシートを取り除きます。 ④シートの先端をハサミなどできれいにカットし、再度セットします。 ⑤出力機の電源を入れます。 ⑥再度印刷を行なってください。 ※詰まったシートが取り除けない場合は、最寄の当社サービス会社へお問い合わせください。
		シートのセットが浅い。	シートは出力機の取扱説明書に従い、奥まで入れてセットしてください。
		シートが斜めにセットされています。	シートは出力機の取扱説明書に従い、まっすぐセットしてください。

ランプ	本機の状態	原因	対処方法
● ⇄ ○ (赤点滅)	本体を操作中です。	本体のシート送りキー、シート戻しキー、ハサミカットキーが押されています。	本体のキーを離してもう一度出力してください。
● ⇄ ○ (赤点滅)	プリンタヘッドが高温になっています。	プリンタヘッドが高温になっています。	①「印刷中止」ボタンをクリックしてください。 ②出力機の電源を切ります。 ③ドアカバーを開けた状態で、20~30分涼しい所に放置してください。 ④出力機の電源を入れます。 ⑤再度、印刷を行なってください。
● ⇄ ○ (赤点滅)	プリンタヘッドが低温になっています。	プリンタヘッドが低温になっています。	①「印刷中止」ボタンをクリックしてください。 ②出力機の電源を切ります。 ③10℃以上の場所に、しばらく放置してください。 ④出力機の電源を入れます。 ⑤再度、印刷を行なってください。
● ⇄ ○ (赤点滅)	本体がパソコンから受信したデータが異常です。	パソコンから出力時に、受信したデータに異常があります。	①「印刷中止」ボタンをクリックしてください。 ②出力機の電源を切ります。 ③パソコンを再起動してください。 ④本体とパソコンの接続を確認してください。 ⑤出力機の電源を入れます。 ⑥再度、印刷を行ってください。
● ⇄ ○ (赤点滅)	本体がパソコンから受信したデータ量が容量を超えました。	本体が受信できるデータ量を超えました。	①「印刷中止」ボタンをクリックします。 ②出力内容を分けて、出力してください。
● ⇄ ● (赤緑交互点滅)	プリンタヘッドが異常です。	プリンタヘッドが異常です。	①「印刷中止」ボタンをクリックします。 ②電源を入れ直してください。 ※直らない場合は修理が必要です。ご購入の販売店、または最寄の当社サービス会社へお問い合わせください。
● ⇄ ● (赤緑交互点滅)	カッタの原点を検出できませんでした。	カッタの原点検出ができません。	①「印刷中止」ボタンをクリックします。 ②出力機の電源を切り、必ずコンセントから電源プラグを抜きます。 ③ドアカバーを開け、カッタ部の固定用テープをはがしてください。 ④ドアカバーを開け、カッタ部に異物があれば取り除いてください。 ⑤電源を入れ直してください。 ※直らない場合は修理が必要です。ご購入の販売店、または最寄の当社サービス会社へお問い合わせください。

ランプ	本機の状態	原因	対処方法
● ⇄ ● (赤緑交互点滅)	ハサミが正常に動作しませんでした。	シートまたは異物が詰まっています。	①「印刷中止」ボタンをクリックします。 ②出力機の電源を切り、必ずコンセントから電源プラグを抜きます。 ③ドアカバーを開け、詰まった異物またはシートを取り除きます。 ④シートを取り除いたら、先端をハサミなどできれいにカットし、再度セットします。 ⑤出力機の電源を入れます。 ⑥再度印刷を行なってください。 ※詰まったシートが取り除けない場合は、最寄の当社サービス会社へお問い合わせください。
● ⇄ ● (赤緑交互点滅)	ヘッドユニットが正常に動作しませんでした。	シートまたは異物が詰まっています。	①「印刷中止」ボタンをクリックします。 ②出力機の電源をOFFし、必ずコンセントから電源プラグを抜きます。 ③ドアカバーを開け、詰まった異物またはシートを取り除きます。 ④シートを取り除いたら、先端をハサミなどできれいにカットし、再度セットします。 ⑤出力機の電源をONにします。 ⑥再度印刷を行なってください。 ※詰まったシートが取り除けない場合は、最寄の当社サービス会社へお問い合わせください。
● ⇄ ● (赤緑交互点滅)	不明なエラーが発生しました。	不明なエラーが発生しています。	消耗品の再セット、異物の除去、ケーブルの接続、パソコン再起動、ドライバインストール等を行っても直らない場合は修理が必要です。ご購入の販売店、または最寄の当社サービス会社へお問い合わせください。
	通信エラーが発生しています。	ケーブルが接続されていないか、正しく接続されていない。	①「印刷中止」ボタンをクリックします。 ②USBまたはLANケーブルを本体に正しく接続されていない。
		本体の電源が入っていません。	①「印刷中止」ボタンをクリックします。 ②電源コードがコンセントに差し込まれているか確認し、本体の電源を入れてください。
		IPアドレスの設定が、パソコン側と本体側で一致していません。	①「印刷中止」ボタンをクリックします。 ②IPアドレス設定ツールを使用して、本体の設定を確認してください。
		ステータスマニタのタイムアウトの設定が最適ではない可能性があります。	①「印刷中止」ボタンをクリックします。 ②ステータスマニタの設定画面で、お使いのケーブルのタイムアウト時間を設定してください。

8.2 故障かなと思う前に

現象	確認してください	対応のしかた	参照ページ
電源が入らない。	電源コードがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	電源コードをコンセントにしっかり差し込んでください。	23
動作しない。	インターフェースケーブルが正しく接続されていますか。	USBケーブル又はLANケーブルを正しく接続してください。	22
	パソコンのプリンタ設定が正しく設定されていますか。	プリンタのプロパティで正しいポートを選択してください。	インストールマニュアル
	LAN出力の為のIPアドレスが正しく設定されていますか。	IPアドレスの確認を行なってください。	インストールマニュアル
きれいに印字されない。	プリンタドライバと出力機にセットされているシートが一致していますか。	プリンタドライバのプロパティでセットされているシートを選択してください。	7
	シート表面にホコリ・ゴミなどが付着していませんか。	<ul style="list-style-type: none"> ・シートの外周1巻分はゴミがつきやすいので、切除してから装着してください。 ・粘着剤や油、指紋などが付着しても印字抜けは発生します。シート表面をきれいな状態に保てるよう、直接指で触れないなどして気を付けてください。 ・使用しない時は、梱包のビニール袋に入れて、冷暗所に保管してください。 	4
	シート表面を斜めにすかしてみると、表面に凹凸が目立ちませんか。	<ul style="list-style-type: none"> ・シート表面が荒れてしまっています。新しいシートをセットしてください。 ※シートは冷暗所に保管してください。 直射日光の当たるところに保管すると、シート自体が収縮し、正常に印字できなくなる場合があります。 	4
	印字がかすれたり、尾を引いたりギザギザが出ていませんか。	プリンタドライバで印字濃度調整を行ってください。	8

現象	確認してください	対応のしかた	参照ページ
印字物が途中で切れたりはみ出したりしている。	アプリケーションソフトで設定している用紙の長さや[シート設定]の出力長さが合っていますか。	印刷ダイアログで「印刷長さ」自動調整にチェックを入れてください。	27
印刷しないでシートが出てくる。	インクリボンの先頭まで巻き取らずにインクリボンカセットをセットされていませんか。	インクリボンカセットのリボンギヤを回してインクリボンが出るまで送ります。	5
リボンとシートと一緒に出てくる。	インクリボンカセット装着時にリボンがたるんでいませんか。	インクリボンカセットのリボンギヤを回してインクリボンのたるみをとります。	5
作成物が出てこない。	オートカットが「オフ」に設定されていませんか。	シート長さ約140mm以内の作成物の場合、シート出口に達しませんのでハサミキーを押してシートを出してください。 ※毎回ハサミでフルカットしたい時は、「オプション」タブでオートカット設定を「オン」に設定しなおしてください。	
シートが出てこない。	シートがハサミ部で詰まっていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 電源を切り、電源をコンセントから抜きます。ドアカバーを開け、詰まったシートを取り除きます。シート先端をはさみなどできれいにカットし、再度セットします。 どうしても詰まったシートが取り除けない場合は、最寄りの当社サービス会社へお問い合わせください。 	3
ラミネート印刷が途中で止まってしまう。	本体LEDランプのエラー表示が緑の長短点滅になっていませんか。	サーマルヘッドが高温のため、しばらく（3分程度）待ってください。温度が下がり次第、自動で印刷が再開されます。	13
	本体LEDランプのエラー表示が上記以外になっていませんか。	参照ページのエラー表示の対処方法を確認して対処してください。	29

現象	確認してください	対応のしかた	参照ページ
文字や図形が切れない。	刃先にシートの切りカスが付着していませんか。	電源を切り、電源コードを抜いてから、刃先に付着したシートの切りカスを取り除いてください。	14
	カット圧調整ダイヤルを確認ください。	刃先の圧力を調整するカット圧調整ダイヤルを1つずつ大きな値にしてカットし、適切なカットができるよう調整してください。	16
	刃先の摩耗が考えられます。刃（カッティングツール）の寿命は、カット距離で約3,000mです。	電源を切り、電源コンセントを抜き、刃（カッティングツール）の交換を行ってください。	14 ・ 15
刃（カッティングツール）交換直後から、シートにキズをつけるようになった。	刃（カッティングツール）の交換時に、刃先を押し込みませんでしたか。	刃（カッティングツール）の装着は、軽く差し込むだけで十分です。電源を切り、電源コンセントを抜いて、再度セットし直してください。	14 ・ 15
カットした文字の角の部分が丸みを帯びる。	刃先が摩耗していませんか。または、欠けていませんか。	電源を切り、電源コンセントを抜いて、新しい刃（カッティングツール）に交換してください。	14 ・ 15
パソコンと接続してもカットできない。	お使いのパソコンのOSは、対応OSに入っていますか。	当社ホームページなどで対応OSを確認してください。	インストール マニュアル
	本機の電源はONになっていますか。	本機の電源をONにしてください。	23

付 録

1. お客様登録をお願いします

お客様登録について

お客様登録をしていただくと、Bepopをより使い易いツールとする為に当社が運営する会員制WEBサイト (Bepop-net.com) をお使いいただけます。是非、一度アクセスいただき、あなたのサインや看板の作成にお役立て下さい。

なお、主なコンテンツは次の通りです。より使い易いサイトにしていく予定ですので、是非お立ち寄りください。

URL : <http://www.bepop-net.com>

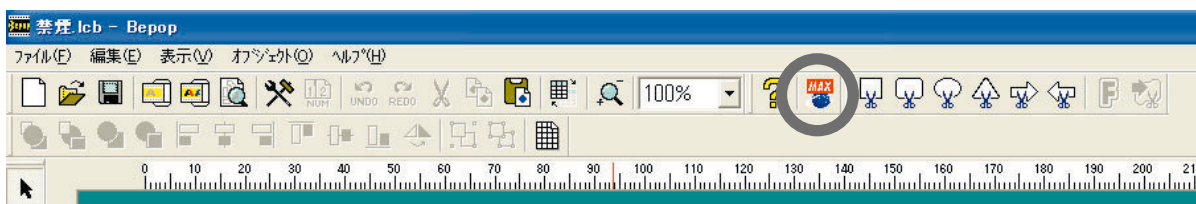
- 1) よくある質問と回答 (FAQ)
よくあるお問い合わせやトラブルの対処方法をご紹介します。こんなときはどうするのだろう、という時にアクセスしてみてください。
- 2) 新しいシンボルデータを入手する
標準で添付されているシンボル (絵文字) 以外にも、リクエスト等にお応えしてBepopで使える専用シンボルデータを無償ダウンロードできます。
- 3) メールで問い合わせる
ご質問やご要望を受け付けているコーナーを設けています。

添付のCD-ROMを使う。(インターネットが使える必要があります)

- ①添付のCD-ROMをパソコンにセットします。
- ②セットアップメニューからお客様登録を選びます。
- ③画面に従って、お客様登録をお願いします。

BepopPCの入力画面から行う (インターネットが使える必要があります)

- ①BepopPC入力画面のをクリックしてください。あなたのパソコンにインストールされているブラウザソフトが起動し、bepop-net.comサイトにアクセスします。



- ②画面に従って、ユーザー登録を行なってください。
なお、お客様登録には機械のシリアルナンバーが必要です。シリアルナンバーは、機械に同梱されているお客様登録カードに記載されています。

添付のはがきを送る (インターネットを使わない場合)

お客様登録カードに必要な事項を記入してお送りください。

2. 商品仕様

商 品 名		CPM-100Ⅲ	CPM-100HⅢ
プリント部	印字方式	熱転写方式	
	印字密度	203dpi	400dpi
	印字速度	25mm/sec.	
カッティング部	分解能	0.025mm/step	
	カッティング速度	最大120mm/sec.	
最大出力範囲		100×2000mm	
インターフェース		USB2.0 フルスピード*	USB2.0 フルスピード LAN 10baseT/100baseTX
使用環境		温度：10～35℃ 湿度：35～80%（ただし結露しないこと）	
電源		AC100V±10% 50/60Hz	
消費電力		85W	
外形寸法		W330×D320×H320mm	
質量（本体のみ）		9kg	

3. 保証書／保守サービス

【保証書について】

- *保証期間中万一故障した場合、保証記載内容に基づき無料修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。
- *保証期間後の修理はお買い求めの販売店、弊社営業所、又はマックスサービスファクトリー(株)窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご依頼に応じ有償修理いたします。
- *保証書は、同梱されております。付属のお客様アンケートカードに所定の事項をご記入の上、ご返送ください。

【保守サービスについて】

- *お買い上げの販売店、又は弊社営業所、マックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)にご相談ください。
- *持ち込み修理：修理品を販売店、又はマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)の窓口にお持ち込みください。

※Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
 ※True Typeは、Apple Computer, inc.の米国及びその他の国における登録商標です。

使い方のお問い合わせ

ホームページアドレス：<http://www.max-ltd.co.jp/op/>

お客様相談ダイヤル：0120-510-200

携帯電話からは：03-3669-6786

[月～金曜日(祝祭日、当社休業日除く) 午前9時～午後6時]

※通話内容は対応品質向上のため録音させていただいております。

修理のお問い合わせ

本社・営業本部 〒103-8502 中央区日本橋箱崎町6-6 TEL(03)3669-8108(代)

支店・営業所

札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)261-7141(代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)236-4121(代)
新潟支店	〒955-0081	三条市東裏館2-14-28	TEL(0256)34-2140(代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8141(代)
名古屋支店	〒462-0819	名古屋市北区平安2-4-87	TEL(052)918-8620(代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6444-2031(代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-6331(代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)411-5416(代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-3	TEL(019)621-3541(代)
長野営業所	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377(代)
静岡営業所	〒420-0067	静岡市葵区幸町29-1	TEL(054)205-3535(代)

販売関係会社

埼玉マックス(株)	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL(048)651-5341(代)
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸2-15	TEL(076)240-1871(代)
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町761-3	TEL(087)866-5599(代)

マックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)

東京サービスステーション	〒190-0022	立川市錦町5-17-19	TEL(042)548-5332(代)
札幌サービスステーション	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487(代)
仙台サービスステーション	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)237-0778(代)
名古屋サービスステーション	〒462-0819	名古屋市北区平安2-4-87	TEL(052)918-8624(代)
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6446-0815(代)
広島サービスステーション	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-5670(代)
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)451-6430(代)



●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。